

2001年秋季年会

年会プログラム

於 イーグレひめじ
姫路市市民会館

2001年10月4日(木)～10月6日(土)

日本天文学会

<年会プログラムは、取り外せます。>

日本天文学会 2001 年秋季年会プログラム

場 所 第1会場：イーグレひめじ 第2会場：市民会館（案内図参照）
 姫路市本町 68-177 姫路市本町 112
 電 話 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2001 年 10 月 3 日（水）～ 10 月 7 日（日）>

日 程

月日	会場	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
10月3日 (水)							記者会見					
10月4日 (木)	A	R. 銀 河		昼 休 み	ポ ス タ ー	R. 銀 河		ALMA 特 別 セ ッ シ ョ ン				
	B	P. 星・惑星				P. 星・惑星						
	C	N. 恒 星				N. 恒 星						
	D	W. 飛翔観				W. 飛翔観						
	E	T. 銀河団				T. 銀河団/V. 地上観						
	F	X. 情報/K. 天力				B. ブラックホール						
10月5日 (金)	A	R. 銀 河		(評 議 員 会) 昼 休 み	ポ ス タ ー	S. 銀河核		総 会	懇 親 会			
	B	P. 星・惑星/Q. 星 間				Q. 星 間						
	C	N. 恒 星				L. 太陽系						
	D	W. 飛翔観/A. 突発天体				A. 突発天体						
	E	V. 地上観				V. 地上観						
	F	M. 太 陽				M. 太 陽						
10月6日 (土)	A	S. 銀河核		(理 事 会) 昼 休 み	ポ ス タ ー	天文教育 フォーラム		ジ ュ ニ ア セ ッ シ ョ ン				
	B	Q. 星間/Y. 教育				スーパーSINET 特別セッション						
	C	U. 宇宙論										
	D	A. 突発天体										
	E	V. 地上観										
	F	M. 太 陽										
10月7日 (日)							公開講演会 (一般対象)					

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| A 会場：イーグレひめじ (3F) | 受 付：イーグレひめじ (地下 1F) |
| B 会場：イーグレひめじ (地下 1F) | ポスター会場 I：イーグレひめじ (地下 1F) |
| C 会場：イーグレひめじ (地下 1F) | 〃 II：イーグレひめじ (地下 1F) |
| D 会場：イーグレひめじ (4F) | 総 会 会 場：E 会場 |
| E 会場：市民会館 (3F) | 懇 親 会 場：A 会場 |
| F 会場：市民会館 (4F) | 会 議 室：イーグレひめじ (4F) |

◎講演数・参加費用

講演数：合計 521

(口頭講演 (a)：307、ポスター講演 (b)：163、ポスター講演 (c)：51)

基本登録料：会員 3,000 円、非会員 5,000 円 (1 講演分の講演登録料を含む)

追加講演登録料：3,000 円 (追加 1 講演につき)

年会予稿集：2,000 円 (購入希望者のみ)

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 6 会場で行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。名前の直前に○印のある著者が講演者です。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180 × 横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、10 月 4 日の 9:00 から 10 月 6 日の 15:00 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP をご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

◎会期中の行事

1. 記者会見：3 日 (水) 13:30 ~ 会議室
学会講演の中から、3 ~ 4 のトピックスを選び、記者会見を行います。
2. ALMA 特別セッション：4 日 (木) 17:00 ~ 19:00 A 会場
3. 評議員会：5 日 (金) 12:00 ~ 13:00 会議室
4. 総会：5 日 (金) 16:30 ~ 18:00 E 会場
主な議題 = ○ 2002 年度事業計画案
○ 2002 年度収支予算案
○ 「会費に関する細則」変更の承認
○ 新評議員の承認
5. 懇親会：5 日 (金) 18:30 ~ A 会場
6. 理事会：6 日 (土) 12:00 ~ 13:00 会議室
7. 天文教育フォーラム：6 日 (土) 14:00 ~ 15:30 A 会場
8. スーパー SINET 特別セッション：6 日 (土) 14:00 ~ 15:30 B 会場
9. ジュニアセッション：6 日 (土) 15:30 ~ 17:00 A 会場
10. 公開講演会：7 日 (日) 13:00 ~ 16:00 A 会場

◎ALMA 特別セッション「ALMA で探る宇宙—銀河の形成と進化—」

主催： 日本学術会議 天文学研究連絡委員会、日本天文学会
国立天文台電波専門委員会 ALMA 計画推進小委員会

日時・場所： 2001年10月4日（木）17:00～19:00 A会場（イーグレひめじ3F：多目的ホール）

概要： ALMA（Atacama Large Millimeter/submillimeter Array、アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計）計画は、日本・北アメリカ・ヨーロッパの三極による共同建設・共同運用をめざして、現在各極の予算確保に向けた最終段階にあります。

本特別セッションでは、ALMA 計画の最新の進捗状況を報告するとともに、ALMA で実現される高感度、高空間分解能、サブミリ波という周波数の窓が、日本および世界の研究にどのような新展開をもたらすかを考えます。星・惑星系形成を取り上げた春季学会に引き続き、今回はALMA のもう一つのキーサイエンスである銀河の形成と進化を取り上げ、講演者のお一人として、カリフォルニア工科大学のNick Scoville 教授をお迎えしたいと思います。前回に引き続き、総合討論の時間の一部を使って、ALMA の共同利用体制やそれに関連した日本の研究体制の議論も行いたいと考えます。幅広い分野の研究者の皆さんのご参加をお待ちしております。

プログラム： あいさつ（天文研連委員長、名古屋大 教授 池内 了）
ALMA 計画の現状と今後（国立天文台 教授 川辺良平）
ALMA で探る銀河の初期進化（カリフォルニア工科大 教授 N. Scoville）
銀河形成の諸問題と ALMA（筑波大 助教授 梅村雅之）
総合討論—ALMA の共同利用について—（司会：国立天文台 教授 長谷川哲夫）

世話人： 池内 了（天文研連委員長、名大理）
中井直正（国立天文台）
長谷川哲夫（天文研連委員、国立天文台）
<tsuo.hasegawa@nao.ac.jp>ALMA 計画準備室 電話 0422-34-3543

◎スーパー SINET 特別セッション

日時・場所： 2001年10月6日（土）14:00～15:30 B会場（イーグレひめじ地下1F）

概要： 従来、各大学、各研究所間を結んでいた『学研ネット（SINET）』に比べ、数百倍の情報帯域幅（10Gbps）をもった『スーパー SINET』の試行が今度の一月から始まります。当面は、仙台から大隈までの5旧帝大と6共同利用機関（国立天文台、宇宙研、高エネ研など）の間ですが、数年を経て徐々に拡がっていくものと思われます。

既に、感度増大をねらった光結型 VLBI や、研究所間に分散したデータベースの密結合など、いくつかの提案がなされていますが、現状の数百倍の帯域幅をもってすれば、まだまだいろいろ使い方が考えられると思います。

そのような天文学が発展するには、スーパー SINET が実のあるものになり、さらに発展していく必要があります。この需要と供給の関係が好循環となるよう、天文研究者の側から、もっとも提案していかねばなりません。そこで、年会の機会をとらえ、スーパー SINET を利用してどんな面白い科学があり得るかを考える機会を持ちたいと思います。

プログラム： 超高速学術情報ネットワークスーパー SINET の意義（近田義広/国立天文台）
スーパー SINET のネットワーク構成（千葉庫三/国立天文台）
既に計画されている利用案

- ・光結型 VLBI（川口則幸/国立天文台）
- ・GRAPE ネット（牧野淳一郎/東京大）
- ・宇宙研-国立天文台直結統合 DB（安田直樹/国立天文台）

パネル討論「面白い応用を考えよう」（飛び入り提案歓迎）

パネラー：長瀬文昭（宇宙研）、藤沢健太（国立天文台）、松田卓也（神戸大）、
水本好彦（国立天文台）、近田義広（国立天文台）（進行役）

世話人：近田義広（国立天文台）CHIKADA.Yoshihiro@nao.ac.jp

◎天文教育フォーラム（共催：天文教育普及研究会、後援：兵庫県教育委員会、姫路市教育委員会）

テ－マ：「現代新天体発見事情」

日時・場所：2001年10月6日（土）14：00～15：30 A会場（イーグレひめじ3F：多目的ホール）

概要：毎年春の年会では、その前の年に彗星・新星・超新星等を新発見したアマチュアに対して、天文学会から天体発見賞・天体発見功労賞の授与が行われています。その発見された天体には特異天体もあり、また、突発天体の確認などの協力を通して、アマチュアの方々の学術への貢献も無視できません。これらの業績は、国内だけでなく、海外においても高い評価を得ることがまれではありません。そこで、今回のフォーラムでは、知る機会が少ないアマチュアの方の発見を目指す心意気や工夫、その生活の様子にスポットを当ててみたいと思います。

話題提供者：1. 山岡 均（九州大学・理）「新天体の発見と天体発見賞・発見功労賞」
2. 中野 主一（兵庫県洲本市）「天体発見業務の紹介」
3. 櫻井 幸夫（茨城県水戸市）「未知の星を求めて」
4. 高見沢今朝雄（長野県南佐久郡）「私のライフワーク＝新天体の五日釣り」
（10個の新天体との出会い）

参加費：天文教育フォーラムおよびジュニアセッションのみの参加者は、参加費（年会基本登録料）は不要です。年会受付で、その旨お伝えください。

実行委員：山縣朋彦（文部科学省）、吉川 真（宇宙科学研究所）
浜根寿彦（ぐんま天文台）、西村昌能（京都府立洛東高等学校）

問い合わせ先：山縣朋彦（yamagata@ioa.s.u-tokyo.ac.jp）

◎第3回ジュニアセッション

主催：日本天文学会 共催：天文教育普及研究会
後援：日本惑星協会、兵庫県教育委員会、姫路市教育委員会

日時・場所：2001年10月6日（土）15：30～17：00 A会場（イーグレひめじ3F：多目的ホール）
（ポスター発表は年会会期中ポスター会場にて）

プログラム：年会プログラム47ページに掲載

◎日本天文学会公開講演会（後援：兵庫県教育委員会、姫路市教育委員会）

テ－マ：「宇宙生命を求めて」

日時・場所：2001年10月7日（日）13：00～16：00（12：30開場）A会場（イーグレひめじ3F：多目的ホール）

対象：中学生以上・一般

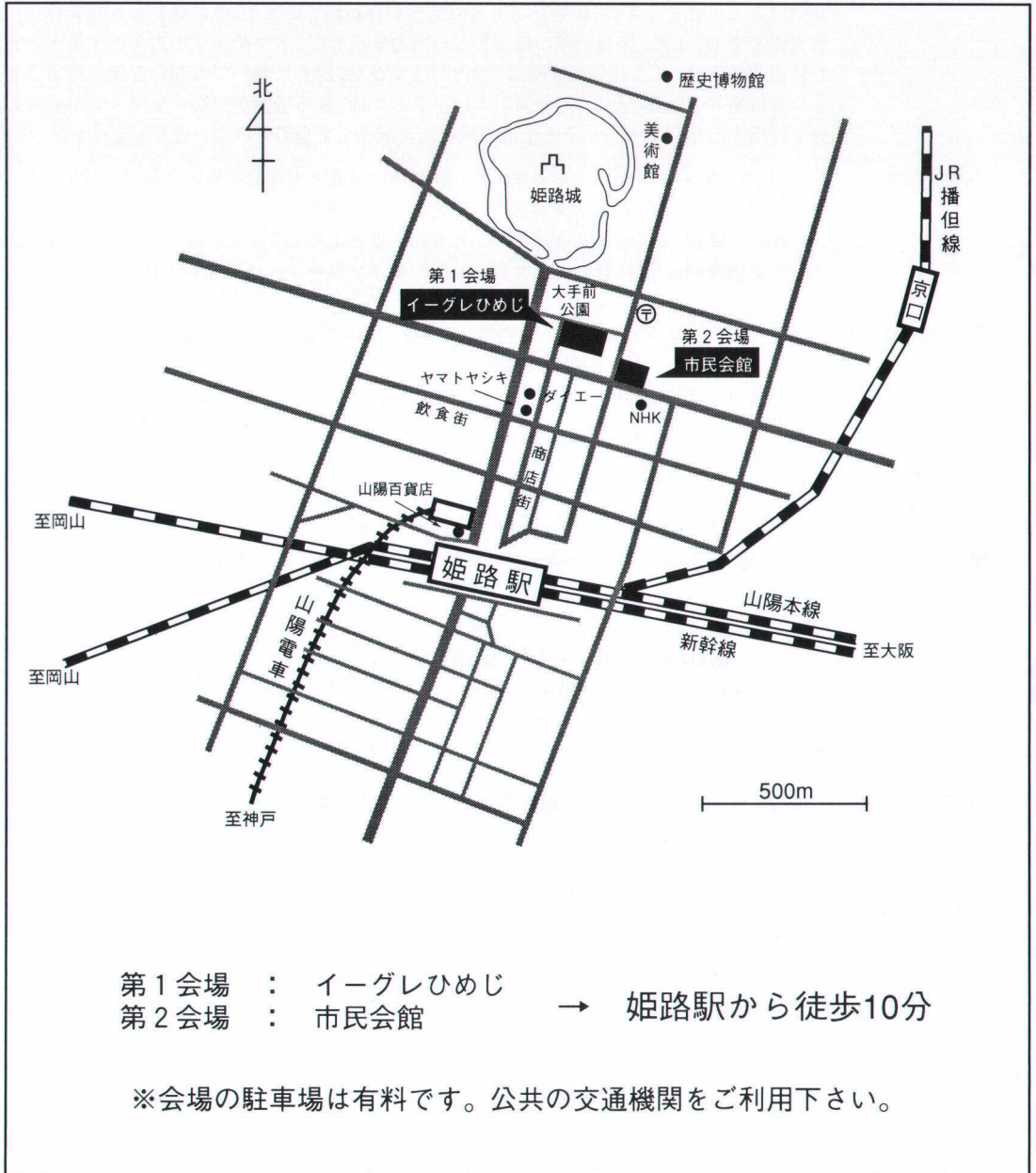
概要：宇宙生命は多くの人々にとって極めて興味深い対象です。私たちが宇宙生命を求める理由の一つは、宇宙生命の一つである地球生命のことをもっとよく理解し、未来に向かって地球文明の進歩に役立つ貢献をしたいと考えているからでしょう。宇宙生命探査の試み、人類の営みと地球環境、宇宙空間における地球生命の振る舞い、等の紹介、議論を通して私たち人類の行く末を一緒に考えてみましょう。

1. 講演：「人類はいつまで人間でいられるか」
森本雅樹（兵庫県立西はりま天文台公園長）
2. 対談：「宇宙と生き物たち」
平林 久（宇宙科学研究所教授）
黒谷明美（宇宙科学研究所助教授）

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。

ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。

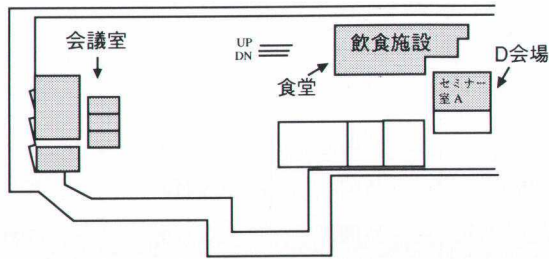
秋季年会会場のご案内



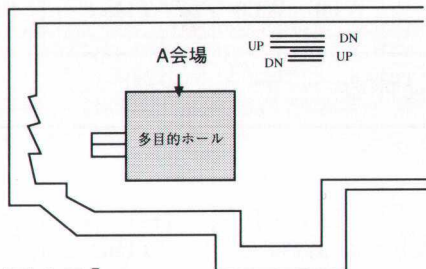
会場（イーグレひめじ・市民会館）案内図

第1会場 <イーグレひめじ>

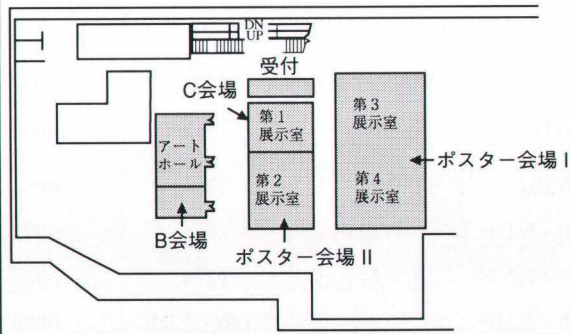
【4F（国際交流センター）】



【3F（男女共同参画推進センター）】



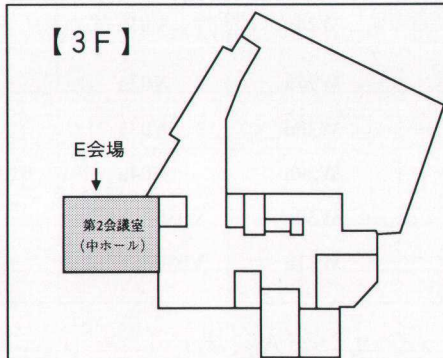
【地下1F】



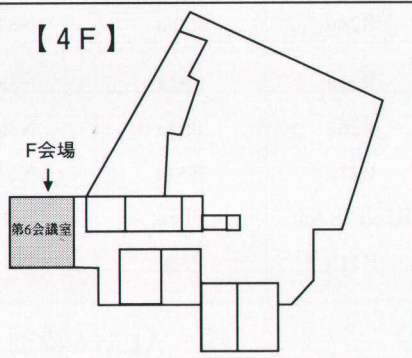
- 受付：イーグレひめじ（地下1F）
- 講演会場
 - A会場：イーグレひめじ（3F）
 - B会場：イーグレひめじ（地下1F）
 - C会場：イーグレひめじ（地下1F）
 - D会場：イーグレひめじ（4F）
 - E会場：市民会館（3F）
 - F会場：市民会館（4F）
- ポスター会場
 - I：イーグレひめじ（地下1F）
 - II：イーグレひめじ（地下1F）
- 展示コーナー：ポスター会場I
- 総会会場：E会場
- 懇親会場：A会場
- 公開講演会：A会場
- 食堂：イーグレひめじ（1F、4F）

第2会場 <市民会館>

【3F】



【4F】



口頭セッション 10月4日(木)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
10:00	【銀河】 R01b - R03b	【星・惑星】 P01b, P03b, P04b	【恒星】 N01a	【飛翔観】 W01a	【銀河団】 T01b - T03b	【情報処理】 X01a
10:12	R04b - R06b	P05b - P07b	N02a	W02a	T04b - T06b	X03a
10:24	R07a	P08b - P10b	N03a	W03a	T07a	X04a
10:36	R08a	P11b - P13b	N04a	W04a	T08a	X06b - X08b
10:48	R09a	P14a	N06a	W05a	T09a	【天体力学】 K01a
11:00	R10a	P15a	N07a	W06a	T10a	K02a
11:12	R11a	P16a	N08a	W07a	T11a	K03a
11:24	R12a	P17a	N10b - N12b	W08a	T12a	K04a
11:36	R13a	P18a	N13a	W09a	T13a	K05a
11:48	R14a	P19a	N14a	W10b - W12b	T14a	K06b, K07b
12:00	昼休み					
13:00	ポスター					
14:00	【銀河】 R15a	【星・惑星】 P20a	【恒星】 N15a	【飛翔観】 W13a	【銀河団】 T15a	【ブラックホール】 B01a
14:12	R16a	P21a	N16a	W14a	T16a	B02a
14:24	R17a	P22a	N17a	W15b - W17b	T17a	B03a
14:36	R18a	P23a	N18a	W18b - W20b	T18a	B04a
14:48	R19a	P24a	N19a	W21a	T19a	B05a
15:00	R20a	P25a	N20a	W22a	T20a	B06a
15:12	R21a	P26a	N21b - N23b	W23a	T21a	B07a
15:24	R22a	P27a	N24b, N27b, N28b	W24a	T22a	B08a
15:36	R23a	P28a	N31b - N33b	W25a	T23b - T25b	B09a
15:48	R24a	P29a	N34a	W26a	【地上観】 V01a	B10a
16:00	R25a	P32a	N35a	W27a	V02a	B11a
16:12	R26a	P33a	N36a	W28a	V03a	B12a
16:24	R27a	P34a	N37a	W29a	V04a	B13b - B15b
16:36	R28b - R30b	P35a	N38a	W30a	V05b - V07b	
16:48	R31b	P36a		W31a	V08b - V10b	
17:00	ALMA特別セッション (A会場)					
19:00	ALMA特別セッション (A会場)					

口頭セッション 10月5日(金)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
09:24	【銀河】 R38b - R40b	【星・惑星】 P37a	【恒星】 N39a	【飛翔観】 W32a	【地上観】 V13a	【太陽】 M01b - M03b
09:36	R41b - R43b	P38a	N40a	W33a	V14a	M04a
09:48	R44b - R46b	P39a	N41b - N43b	W34a	V15a	M05a
10:00	R50a	P40a	N44a	W35b - W37b	V17a	M06a
10:12	R51a	【星間】 Q01a	N45a	W38b - W40b	V18a	M07a
10:24	R52a	Q02a	N46a	W41a	V19a	M08a
10:36	R53a	Q03a	N47a	W42a	V23a	M09a
10:48	R54a	Q05a	N48a	【突発天体】 A01a	V24b - V26b	M10a
11:00	R55a	Q06a	N49a	A02a	V27a	M11a
11:12	R56a	Q07b - Q09b	N50a	A03a	V28b - V30b	M12a
11:24	R57a	Q10b - Q12b	N51a	A04a	V31b - V33b	M13a
11:36	R58a	Q13b - Q15b	N52b - N54b	A05a	V34b - V36b	M14a
11:48	R59a	Q16b, Q17b	N55b - N57b	A06b, A07b		M15b - M17b
12:00	R60a		N59b			M18b
13:00	昼休み					
	ポスター					
14:00	【銀河核】 S01a	【星間】 Q18a	【太陽系】 L01a	【突発天体】 A08a	【地上観】 V38a	【太陽】 M19a
14:12	S02a	Q19a	L02a	A09a	V39a	M20a
14:24	S04a	Q20a	L03a	A10a	V40a	M21a
14:36	S05a	Q21a	L04a	A11a	V41a	M22a
14:48	S06a	Q22a	L05a	A12a	V42b - V44b	M23a
15:00	S07a	Q23a	L06a	A13a	V45b - V47b	M24a
15:12	S08a	Q24a	L07a	A14a	V48b - V50b	M25a
15:24	S09a	Q25a	L08a	A15a	V51a	M27a
15:36	S10a	Q27a	L09a	A16a	V52a	M28a
15:48	S11a	Q28a	L10a	A17a	V53a	M29a
16:00	S12b - S14b	Q29a	L11b - L13b	A18a	V54a	M30a
16:12		Q30a	L14b	A19b, A20b	V55b - V57b	
16:30	総会 (E会場)					
18:00	懇親会 (A会場)					
18:30	懇親会 (A会場)					

口頭セッション 10月6日(土)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
09:24	【銀河核】 S16a	【星間】 Q31a	【宇宙論】 U01a	【突発天体】 A21a	【地上観】 V58a	【太陽】 M31a
09:36	S17a	Q32a	U03a	A22a	V59a	M32a
09:48	S19a	Q33a	U04a	A23a	V60a	M33a
10:00	S20a	Q34a	U05a	A24a	V61a	M34a
10:12	S21a	Q35a	U06a	A25b - A27b	V62a	M35a
10:24	S22a	Q36a	U07a	A28a	V64a	M36a
10:36	S23a	Q37a	U08a	A29a	V65b - V67b	M37a
10:48	S24a	【教育】 Y01a	U09a	A30a	V68a	M38a
11:00	S25a	Y02a	U10a	A31a	V70a	M39a
11:12	S26a	Y03a	U12b - U14b	A32a	V71a	M40a
11:24	S27b - S29b	Y07b - Y09b	U15a	A33a		M41a
11:36	S30b	Y10b - Y12b	U16a			
11:48			U17a			
12:00	昼休み					
13:00	ポスター					
14:00	天文教育フォーラム (A会場)			スーパーSINET (B会場)		
15:30	ジュニアセッション (A会場)					
17:00						

<会場Ⅰ>

<p>【突発天体・突発現象】 (7) A06b, A07b, A19b, A20b, A25b, A26b, A27b</p>	<p>【星間現象】 (13) Q04c, Q07b, Q08b, Q09b, Q10b, Q11b, Q12b, Q13b, Q14b, Q15b, Q16b, Q17b, Q26c</p>
<p>【超巨大ブラックホールの形成】 (3) B13b, B14b, B15b</p>	<p>【銀河】 (28) R01b, R02b, R03b, R04b, R05b, R06b, R28b, R29b, R30b, R31b, R32c, R33c, R34c, R35c, R36c, R37c, R38b, R39b, R40b, R41b, R42b, R43b, R44b, R45b, R46b, R47c, R48c, R49c</p>
<p>【天体力学】 (2) K06b, K07b</p>	<p>【活動銀河核】 (10) S03c, S12b, S13b, S14b, S15c, S18c, S27b, S28b, S29b, S30b</p>
<p>【太陽系】 (7) L11b, L12b, L13b, L14b, L15c, L16c, L17c</p>	<p>【銀河団】 (10) T01b, T02b, T03b, T04b, T05b, T06b, T23b, T24b, T25b, T26c</p>
<p>【太陽】 (9) M01b, M02b, M03b, M15b, M16b, M17b, M18b, M26c, M42c</p>	<p>【宇宙論】 (5) U02c, U11c, U12b, U13b, U14b</p>
<p>【恒星】 (30) N05c, N09c, N10b, N11b, N12b, N21b, N22b, N23b, N24b, N25c, N26c, N27b, N28b, N29c, N30c, N31b, N32b, N33b, N41b, N42b, N43b, N52b, N53b, N54b, N55b, N56b, N57b, N58c, N59b, N60c</p>	<p>【天文教育・その他】 (9) Y04c, Y05c, Y06c, Y07b, Y08b, Y09b, Y10b, Y11b, Y12b</p>
<p>【星・惑星形成】 (15) P01b, P02c, P03b, P04b, P05b, P06b, P07b, P08b, P09b, P10b, P11b, P12b, P13b, P30c, P31c</p>	<p>【ジュニアセッション】 【展示コーナー】</p>

<会場Ⅱ>

<p>【地上観測機器】 (43) V05b, V06b, V07b, V08b, V09b, V10b, V11c, V12c, V16c, V20c, V21c, V22c, V24b, V25b, V26b, V28b, V29b, V30b, V31b, V32b, V33b, V34b, V35b, V36b, V37c, V42b, V43b, V44b, V45b, V46b, V47b, V48b, V49b, V50b, V55b, V56b, V57b, V63c, V65b, V66b, V67b, V69c, V72c</p>	<p>【飛翔体観測機器】 (15) W10b, W11b, W12b, W15b, W16b, W17b, W18b, W19b, W20b, W35b, W36b, W37b, W38b, W39b, W40b</p>
	<p>【情報処理】 (8) X02c, X05c, X06b, X07b, X08b, X09c, X10c, X11c</p>

A. 突発天体・突発現象 (D会場)

<p>10/5 (金)</p>	<p>10/5 (金)</p>
<p>10 : 48 A01a Image Subtraction法を用いた重力マイクロレンズイベントサーチ ○山田亮子、村木 綏、阿部文雄、増田公明、松原 豊、さこ隆志、柳沢俊史、住 貴宏、野田祥代 (名大 STE)、竹内 峯 (東北大理)、関口真木、本田守広、(東大宇宙線研)、河辺征次、小林 誠、中村卓史 (京大基研) 渡瀬芳行 (高工研)、宮本昌典、吉沢正則、本間希樹、官谷幸利 (国立天文台)、齋藤敏治 (都立航空高専)、寿岳 潤 (東海大文明研)、佐藤修二、藤本光昭 (名大理)、佐藤文隆 (京大理)、大西浩次 (長野工業高専)、P. C. M. Yock、I. A. Bond、N. J. Rattenbury (オークランド大)、J. Hearnshaw、P. Kilmartin (カンタベリー大)、D. Sullivan、B. Carter (ピクトリア大)</p>	<p>11 : 48 A06b ぐんま天文台小型低分散分光器におけるSN2001bg、SN2001bfの観測 ○衣笠健三、河北秀世 (ぐんま天文台)、山岡 均 (九大理)、武山芸英、山室智康 ((株) ジェネシア)</p> <p>A07b 新星 V1178 Sco: 発見、位置、静穏時対応天体 長谷田勝美、門田健一、清田誠一郎 (VSOLJ)、加藤太一 (京大理)、○山岡 均 (九大理)</p>
<p>11 : 00 A02a MOA グループによる銀河中心方向のマイクロレンズ探査 ○住 貴宏、村木 綏、阿部文雄、増田公明、松原 豊、さこ隆志、柳沢俊史、野田祥代、山田亮子 (名大 STE)、竹内 峯 (東北大理)、関口真木、本田守広、(東大宇宙線研)、河辺征次、小林 誠、中村卓史 (京大基研) 渡瀬芳行 (高工研)、宮本昌典、吉沢正則、本間希樹、官谷幸利 (国立天文台)、齋藤敏治 (都立航空高専)、寿岳 潤 (東海大文明研)、佐藤修二、藤本光昭 (名大理)、佐藤文隆 (京大理)、中村卓史 (京大基研)、大西浩次 (長野工業高専)、P. C. M. Yock、I. A. Bond、N. J. Rattenbury (オークランド大)、J. Hearnshaw、P. Kilmartin (カンタベリー大)、D. Sullivan、B. Carter (ピクトリア大)</p>	<p>14 : 00 A08a HETE-2 の現状 (I) 運用状況 ○河合誠之、坂本貴紀 (東工大理/理研)、吉田篤正 (青学大理工/理研)、松岡 勝 (宇宙開発事業団)、白崎裕治 (JST/NASDA)、玉川 徹、鳥居研一 (理研)、山内 誠、高岸邦夫、廿日出勇 (宮崎大工)、G. Ricker、R. Vanderspek、G. Crew、J. Doty、G. Monnelly、J. Villaseñor、N. Butler (MIT)、J. - L. Atteica (CESR)、E. E. Fenimore、M. Galassi (LANL)、D. Q. Lamb、C. Graziani (シカゴ大)、K. Hurley、G. Jernigan (UCB)、S. Woosley (UCSC) 他 HETE-2 チーム</p>
<p>11 : 12 A03a Ia型超新星 2001cj の距離と母銀河が属する銀河群 ○山岡 均 (九大理)</p>	<p>14 : 12 A09a HETE-2 の現状 (II) 速報体制 ○吉田篤正 (青学大理工/理研)、河合誠之、坂本貴紀 (東工大理/理研)、松岡 勝 (宇宙開発事業団)、白崎裕治 (JST、NASDA)、玉川 徹、鳥居研一 (理研)、山内 誠、高岸邦夫、廿日出勇 (宮崎大工)、G. Ricker、R. Vanderspek、G. Crew、J. Doty、G. Monnelly、J. Villaseñor、N. Butler (MIT)、J. - L. Atteica (CESR)、E. E. Fenimore、M. Galassi (LANL)、D. Q. Lamb、C. Graziani (シカゴ大)、K. Hurley、G. Jernigan (UCB)、S. Woosley (UCSC) 他 HETE-2 チーム</p>
<p>11 : 24 A04a すばる望遠鏡による遠方超新星の発見 ○安田直樹 (国立天文台)、土居 守 (東大理センター)、古澤久徳 (東大理)、Isobel Hook (The Gemini Observatory)、柏川伸成 (国立天文台)、Suprime-Cam Team</p>	<p>14 : 24 A10a HETE-2 の現状 (III) 較正観測 ○白崎裕治 (JST/NASDA)、河合誠之、坂本貴紀 (東工大理/理研)、吉田篤正 (青学大理工/理研)、松岡 勝 (NASDA)、玉川 徹、鳥居研一 (理研)、山内 誠、高岸邦夫、廿日出勇、George R. Ricker (MIT)、他 HETE-2 チーム</p>
<p>11 : 36 A05a 超新星の特性と母銀河中心からの距離の相関 I: 超新星の位置情報 ○内藤博之、山岡 均 (九大理)</p>	

10/5 (金)	10/5 (金)
<p>14:36 A11a HETE-2の現状 (IV) 初期成果 ○玉川 徹、鳥居研一 (理研)、河合誠之、坂本貴紀 (東工大理/理研)、吉田篤正 (青学大理工/理研)、松岡勝 (宇宙開発事業団)、白崎裕 (JST/NASDA)、山内 誠、高岸邦夫、廿日出 勇 (宮崎大工)、G. Ricker、R. Vanderspek、G. Crew、J. Doty、G. Monnelly、J. Villaseñor、N. Butler (MIT)、J.-L. Atteica (CESR)、E. E. Fenimore、M. Galassi (LANL)、D. Q. Lamb、C. Graziani (シカゴ大)、K. Hurley、G. Jernigan (UCB)、S. Woosley (UCSC) 他 HETE-2 チーム</p>	<p>15:48 A17a GRB の近傍プラズマを電離非平衡にする物理プロセス ○米徳大輔、村上敏夫 (宇宙研)、政井邦昭 (都立大)、吉田篤正 (青山学院)、河合誠之 (東工大)</p> <p>16:00 A18a GRB スペクトルのブレイクと電子-陽電子対生成 ○浅野勝晃、小林史歩 (大阪大理)</p> <p>16:12 A19b ガンマ線バースト即時分光観測システムの開発2 ○川端哲也、綾仁一哉、五百蔵雅之 (美星天文台)、藤井 貢 (エイアイ設計)、浦田裕次、海老塚 昇 (理研)、河合誠之 (東京工業大)</p>
<p>14:48 A12a すばる望遠鏡による GRB010222 の残光観測 ○渡部潤一、木下大輔 (総研大/国立天文台)、小宮山 裕、布施哲治 (国立天文台ハワイ)、浦田裕次 (東理大理/理研)、吉田二美 (神戸大理/国立天文台)</p>	<p>A20b 木曾観測所におけるカンマ線バースト追観測体制の構築 ○浦田裕次 (東理大理/理研)、中田好一、宮田隆史、青木 勉、征矢野隆夫、樺沢賢一、三戸洋之、西浦慎悟、(東大木曾観測所)、吉田篤正 (青学大理工/理研)、三原建弘 (理研)、河合誠之 (東工大)</p>
<p>15:00 A13a 太陽フレアとガンマ線バースト ○柴田一成、高崎宏之、北井礼三郎、黒河宏企、石井貴子、秋山幸子、森本太郎、磯部洋明、浅井 歩、清原淳子 (京大理附属天文台)、矢治健太郎 (かわべ天文台)、下条圭美、横山央明 (国立天文台)</p>	<p>10/6 (土)</p>
<p>15:12 A14a X線 afterglow 中の鉄輝線と親星の質量放出 ○固武 慶、長滝重博 (東大理)</p>	<p>09:24 A21a 突発現象フォローアップのこの1年 ○加藤太一 (京大理)、VSNET 管理者グループ</p>
<p>15:24 A15a Peak Luminosity-Spectral Lag Relation Caused by the Viewing Angle of the Collimated Gamma-Ray Bursts ○井岡邦仁 (阪大理)、中村卓史 (京大基研)</p>	<p>09:36 A22a Interaction between the Decretion Disk and the Neutron Star in Be/X-Ray Binaries ○岡崎敦男 (北海学園大工)、Matthew Bate (Exeter 大)、Jim Pringle (IoA)、Gordon Ogilvie (IoA)、Ignacio Negueruela (Strasbourg Obs.)</p>
<p>15:36 A16a Variability-Opening Angle Correlation in Gamma-ray Bursts and the Connection to Collapsar Model ○小林史歩 (阪大理)、Andrew MacFadyen (UCSC)、Felix Ryde (Stanford)</p>	<p>09:48 A23a WZ Sge 型矮新星 AL Com のスーパーアウトバースト 石岡涼子、○植村 誠、加藤太一 (京大宇宙物理)、R. Novak、J. Pietz、B. Martin、G.W. Billings、G. Masi、M. Fiaschi (VSNET Collaboration team)</p>

<p>10/6 (土)</p> <p>10:00 A24a ER UMa 型矮新星 IX Dra の発見 ○石岡涼子、加藤太一、植村 誠 (京大宇宙物理)、R. Novak、 G. W. Billings、B. Martin (VSNET Collaboration team)</p> <p>10:12 A25b 激変星 DW Cancri の増光時における準 周期的変動の発見 ○植村 誠、加藤太一、石岡涼子 (京大宇宙物理)、R. Novak、J. Pietz (VSNET Collaboration team)</p> <p>A26b 2001 年 4 月に急増光した C/2001A2 (LINEAR) 彗星の低分散分光観測 ○河北秀世、衣笠健三、濱根寿彦 (ぐんま天文台)、武山芸英、山室智康 (ジェネシア)、藤井 貢 (藤井美星天 文台)</p> <p>A27b 自己相似的に発展する磁気リコネクショ ンの解析解 ○新田伸也 (総研大)、田沼俊一 (名 大STE)、前沢 洸 (宇宙研)</p> <p>10:24 A28a 磁気リコネクシオンジェットと流入流の 3次元構造 ○田沼俊一 (名大STE研)、横山央明、 工藤哲洋 (国立天文台)、柴田一成 (京大理)</p>	<p>10/6 (土)</p> <p>10:36 A29a 観測値との比較による I 型 X 線バースト モデルの検討 ○小池 修、黒水玲子、橋本正章 (九 大理)、藤本正行 (北大理)</p> <p>10:48 A30a 中性子星表面における He-flash への ^{14}N (e, ν) $^{14}\text{C}(\alpha, \gamma)^{18}\text{O}$ 反応の影響 ○黒水玲子、小池 修、橋本正章 (九 大理)、藤本正行 (北大理)、荒井賢三 (熊大理)</p> <p>11:00 A31a 球状星団における主系列星の組成異常と 恒星間相互作用の探査 ○藤本正行、山田志真子 (北大理)、 島田正章 (名古屋短大)、杉本大一郎 (放送大)</p> <p>11:12 A32a Super-galactic plane からの超高エネル ギー宇宙線 井出喜徳、○長滝重博、椿 信也、吉 口寛之、佐藤勝彦 (東大理)</p> <p>11:24 A33a 狭輝線 1 型セイファート銀河の X 線長時 間変動 ○堀川貴子、林田 清、片山晴善、中 嶋雄介 (阪大理)</p>
--	---

K. 天体力学 (F 会場)

<p>10/4 (木)</p> <p>10:48 K01a GJ876 惑星系の力学的安定性 ○木下 宙、中井 宏 (国立天文台)</p> <p>11:00 K02a Nutation Theory of Mercury ○Sebastien Bouquillon (国立天文台)</p> <p>11:12 K03a シンプレクティック数値解法による超可 積分性の非保存 ○吉田 春夫 (国立天文台)</p> <p>11:24 K04a 衛星軌道の一般相対論的運動方程式 ○福島登志夫 (国立天文台 天文情報公 開センター)</p>	<p>10/4 (木)</p> <p>11:36 K05a Tsallis エントロピーと重力熱的不安定性 ○阪上雅昭 (京大総合人間)、樽家篤 史 (東大理)</p> <p>11:48 K06b Triton 摂動を考慮した Nereid の運動理論 ○真崎良光 (総研大数物)、木下 宙 (国立天文台)</p> <p>K07b Application of Ring Potential to Motion around Lagrangian Equilibrium Point ○荒木田英禎 (総研大)、福島登志夫 (国立天文台)</p>
--	---

B. 超巨大ブラックホールの形成 (F会場)

10/4 (木)		10/4 (木)	
14:00	B01a Mass and Activity of the Off-Center Intermediate Massive BH in M82 ○鶴 剛 (京大物理)、松本浩典 (MIT/阪大宇宙地球)、松下聡樹 (CfA)、川辺良平 (国立天文台)、臼田知史、小林尚人 (国立天文台ハワイ)、後藤美和 (ハワイ大)、原島 隆 (ミノルタ)、岩室史英 (京大物理)、戎崎俊一、海老塚 昇 (理研)、牧野淳一郎 (東大理)	15:24	B08a Narrow-Line Seyfert 1 Galaxy, Ton S180 の「あすか」による長期観測(2) フレア中のスペクトル変化 ○洪 秀徴 (日大理工)、根来 均、野上杏子 (理研)、村島未生、江副祐一郎、牧島一夫 (東大理)、久保田あや (宇宙研)
14:12	B02a Nature of X-ray Spectrum of Intermediate Massive BH in M82 ○松本浩典 (MIT/阪大宇宙地球)、鶴 剛 (京大物理)	15:36	B09a 太陽の 100 倍の質量をもつブラックホールは実在するか? ○牧島一夫、杉保昌彦、古徳純一 (東大理)、久保田あや (宇宙研)、水野恒史 (広大理)
14:24	B03a 超巨大ブラックホールの形成シナリオとセイファート銀河とスターバースト銀河の関係 ○戎崎俊一 (理研) 牧野淳一郎 (東大理)、鶴 剛 (京大物理)、川辺良平 (国立天文台)、	15:48	B10a 最小光度セイファート銀河核 NGC4395 のあすかによる X線観測 ○林田 清 (阪大理)、K. Iwasawa、A. C. Fabian (IoA Cambridge)、O. Almaini、P. Lira、A. Lawrence (IfA University of Edinburgh)、井上 一 (宇宙研)
14:36	B04a 大質量ブラックホールの形成に関する合体シナリオからみる原始星団/原始銀河の大きさに対する制限について ○船渡陽子 (東大総合文化)	16:00	B11a 超大光度赤外線銀河(ULIRG)中に潜む活動銀河核の特徴 ○穴吹直久 (東大理/宇宙研)、米徳大輔、藤本龍一、中川貴雄 (宇宙研)
14:48	B05a 高密度恒星系での中心ブラックホールの成長 ○牧野淳一郎 (東大理)、J. B. Taylor (東大理/Harvard Univ.)	16:12	B12a 太陽の 100 倍の質量をもつブラックホール候補天体の光学同定の試み ○杉保昌彦、古徳純一、江副祐一郎、牧島一夫 (東大理)、久保田あや (宇宙研)、水野恒史 (広大理)
15:00	B06a Narrow-Line Seyfert 1 Ark 564 と GBHC の hard state の共通した X線輻射機構の発見 ○根来 均 (理研)、W. Brinkmann、M. Gliozzi (MPE)、I. E. Papadakis (Univ. of Crete) 松岡 勝 (宇宙開発事業団)	16:24	B13b ミリ波における Sagittarius A* のフレア III ○宮崎敦史 (国立天文台野辺山)、堤貴弘 (CfA)、坪井昌人 (茨城大理)
15:12	B07a Narrow-Line Seyfert 1 Galaxy, Ton S180 の「あすか」による長期観測(1) X線スペクトルの時間変動 ○村島未生 (東大理)、久保田あや (宇宙研)、江副祐一郎、牧島一夫 (東大理)、洪 秀徴 (日大理工)、根来 均 (理研)	B14b M82 の中質量ブラックホールを取り巻く分子ガススーパーバブルでのスターバースト ○松下聡樹 (Harvard-Smithsonian CfA)、河野孝太郎、川辺良平 (国立天文台)、松本浩典 (MIT)、鶴 剛 (京大物理)	
		B15b ブラックホール近傍での超高温プラズマ塊の形成 ○高橋真聡 (愛知教育大学)	

L. 太陽系 (C会場)

10/5 (金)	10/5 (金)
<p>14:00 L01a 獅子座流星体の月面衝突による発光2 ○柳澤正久 (電通大)、私市成実 (電通大)</p>	<p>16:00 L11b 只見火球の観測 下田 力、佐藤孝悦 (日本火球ネットワーク)、○司馬康生 (兵庫県立白鷺工業高校)、大塚勝仁 (東京流星観測網)</p>
<p>14:12 L02a MUSES-C 探査小惑星(25143) 1998 SF36 の軌道進化 ○吉川 真 (宇宙研)</p>	<p>L12b マリナー 10 号の測光観測データに基づく金星大気煙霧粒子の検出 ○佐藤靖彦、川端 潔、山本直孝 (東理大理)、佐藤毅彦 (熊大教)</p>
<p>14:24 L03a Mitaka Observations of MUSES-C asteroid mission target 1998SF36 ○ブディデルマワ (東大理)、福島英雄、中村 士、佐藤英男 (国立天文台)、吉田二美 (国立天文台/神戸大)、佐藤祐介 (学芸大)</p>	<p>L13b 偏光度から見たマリナー 10 号近接飛行時における金星大気煙霧粒子の散乱特性 ○川端 潔、山本直孝、佐藤靖彦 (東理大理)、佐藤毅彦 (熊大教)</p>
<p>14:36 L04a Martian cloud belt in autumn: 2001 observations ○中申孝志 (京大花山天文台)、赤羽徳英 (京大飛騨天文台)、岩崎恭輔 (京都学園大)、Stephen M. Larson (LPL/アリゾナ大)</p>	<p>16:12 L14b 太陽系天体サーベイ~データベース利用インタフェースの開発~ ○山本直孝 (東理大理)、木下大輔 (総研大)、渡部潤一 (国立天文台)、川端 潔 (東理大理)</p>
<p>14:48 L05a 天王星リングの N 体数値計算 ○台坂 博、牧野淳一郎 (東大理)、井田 茂 (東工大地惑)</p>	<p>ポスターのみ</p>
<p>15:00 L06a 重ね合わせ法による未知小惑星の検出 ○柳沢俊史 (科学技術振興事業団)、中島 厚、木村武雄 (航空宇宙技術研)</p>	<p>L15c ハワイ・マウナケアにおけるエアグローの全天写真観測 ○小関高明 (姫路市星の子館)</p>
<p>15:12 L07a 尤度評価を用いた微弱な移動天体検出法 ○板垣和幸、三浦則明 (北見工大)</p>	<p>L16c 冥王星とカロンの近赤外分光観測 ○菅野 愛 (東大理)、中村良介 (NASDA/EORC)、石黒正晃 (宇宙研)、木下大輔 (総研大)、五十嵐丈二 (東大理)、寺田 宏 (国立天文台)</p>
<p>15:24 L08a 流星群に関連した粒子の運動 ○古在由秀 (ぐんま天文台)</p>	<p>L17c 黄道光観測用広視野カメラ WIZARD の開発と性能評価 ○藤野正則 (神戸大理)、石黒正晃 (宇宙研)、上野宗孝、白井文彦 (東大総文)、向井 正 (神戸大自然)、中村良介 (NASDA)、Kwon, S. M. (Kangwon Univ.)、Lee, C. (SNU)、関口和寛、宮下暁彦、中桐正夫 (NAOJ)</p>
<p>15:48 L10a 黄道光輻射の中間赤外帯スペクトルと惑星間塵モデル ○大坪貴文、尾中 敬、石原大助、Kin-Wing Chan、田辺俊彦 (東大理)、Thomas L. Roellig (NASA Ames)、山村一誠 (宇宙研)</p>	

M. 太陽 (F会場)

10/5 (金)	10/5 (金)
09:24 M01b 太陽アクシオンに対する日震学太陽モデルからの制限 ○渡辺 悟、柴橋博資 (東大理)	11:00 M11a Hot and Cool Plasma Ejections from Solar Flares on Nov. 24, 2000 ○高崎宏之、柴田一成、黒河宏企、北井礼三郎、石井貴子、秋山幸子、森本太郎、磯部洋明、浅井 歩、清原淳子 (京大理)、下条圭美、横山央明 (国立天文台野辺山)、矢治健太郎 (かわべ天文公園)
M02b 浮上磁場の3次元モデル: 磁気圧と磁気シートの影響について ○野澤 恵 (茨大理)、柴田一成 (京大理)	11:12 M12a NOAA9415 で発生した2001年4月10日 X2.3 フレア ○北井礼三郎、浅井 歩、石井貴子、森本太郎、高崎宏之、磯部洋明、秋山幸子、高津祐通、柴田一成、黒河宏企、(京大理)、横山央明、下条圭美 (国立天文台野辺山)、真柄哲也 (モンタナ大)、吉村圭司 (宇宙研)
M03b 対流層中における捻れた磁束管浮上の3次元 MHD 数値実験 ○布施谷洋帆 (千葉大自然)、松元亮治 (千葉大理)	11:24 M13a 強いフレア活動を示した NOAA9415 の捻れた磁束管構造について ○黒河宏企、清原淳子、石井貴子、北井礼三郎、浅井歩 (京大理)
09:36 M04a 光球下からの孤立捻れた磁束管浮上の3次元 MHD 数値計算(II) ○宮腰剛広 (総研大)、横山央明 (国立天文台)	11:36 M14a 2001年4月10日のフレアにおける、非熱的粒子の時間変化の解析 (1): H α カーネルのライトカーブ ○浅井 歩 (京大理)、黒河宏企、石井貴子、北井礼三郎、柴田一成、鴨部麻衣 (京大理天文台)、増田 智 (名大STE研)、横山央明、下条圭美 (国立天文台野辺山)、矢治健太郎 (かわべ天文公園)
09:48 M05a アルフヴェン波による太陽浮上磁気ループ中のコロナ生成 ○森安聡嗣 (京大)、横山央明、工藤哲洋 (国立天文台)、嶺重 慎、柴田一成 (京大)	11:48 M15b 2001年4月10日のフレアにおける、非熱的粒子の時間変化の解析 (2): Two-Ribbon Flare の内部構造 ○浅井 歩 (京大理)、黒河宏企、石井貴子、北井礼三郎、柴田一成、鴨部麻衣 (京大理天文台)、増田 智 (名大STE研)、横山央明、下条圭美 (国立天文台野辺山)、矢治健太郎 (かわべ天文公園)
10:00 M06a 多波長域データで見た磁束管浮上領域の発展の一例 ○吉村圭司 (宇宙研)、黒河宏企 (京大理)	M16b 観測データに基づいた活動領域磁場への磁気ヘリシティ入射率の解析 ○真栄城朝弘、草野完也 (広大先端)、横山央明、桜井 隆 (国立天文台)
10:12 M07a 1992年11月2日のX9フレアにおける post-flare loop の微細構造の時間発展 ○神尾 精、石井貴子、黒河宏企 (京大理)	M17b スピキュールの生成とコロナ加熱 ○工藤哲洋 (国立天文台)、柴田一成 (京大理)、竹内彰継 (米子高専)、斉藤卓弥 (東大天文)
10:24 M08a Pre-flare Activities in the Active Region NOAA 9236 ○石井貴子、黒河宏企、北井礼三郎 (京大理)	12:00 M18b シア・アルフヴェン乱流のラグランジュ的統計理論 ○中山薫二 (龍谷大)
10:36 M09a 2001年4月10日に起きたX2クラスフレアの硬X線放射構造 ○矢治健太郎 (かわべ天文公園)、増田 智 (名大STE研)、浅井 歩、柴田一成、黒河宏企 (京大理天文台)、横山央明、下条圭美 (国立天文台野辺山)	
10:48 M10a 1997-2000年に飛騨天文台で発見された Moreton wave 4例について ○成影典之、衛藤 茂、磯部洋明、浅井 歩、森本太郎、高津裕通 (京大理)、石井貴子、秋山幸子 (京大理天文台)、八代誠司 (NASA)、北井礼三郎、黒河宏企、柴田一成 (京大理天文台)	

<p>10/5 (金)</p>	<p>10/5 (金)</p>
<p>14 : 00 M19a ようこう /SXT による Differential Emission Measure の評価 ○下条圭美、鹿野良平、原 弘久 (国立天文台)</p>	<p>15 : 48 M29a フレアの磁気流体シミュレーションー重力下での大気の効果 ○横山央明 (国立天文台)、柴田一成 (京大理)</p>
<p>14 : 12 M20a 「ようこう」衛星 ガンマ線スペクトル計 GRS を用いた、太陽フレアに伴うガンマ線の観測 ○松本 縁、牧島一夫 (東大理)、須賀一治、吉森正人 (立教大理)、森本幸司 (理研)、他「ようこう」チーム</p>	<p>16 : 00 M30a 太陽内部回転を正確に考慮した太陽ダイナモ機構 ○阪本康史 (東大理)、常田佐久、関井 隆 (国立天文台)</p>
<p>14 : 24 M21a A study of a solar active region observed by the La Palma SVST ○ D. H. Brooks (Kwasan and Hida Observatories, Kyoto University)、H. Kurokawa (Kwasan and Hida Observatories, Kyoto University)、K. Yoshimura (Institute of Space and Astronautical Science)、T. E. Berger (Lockheed Martin Solar and Astrophysics Lab.、PaloAlto, USA)</p>	<p>10/6 (土)</p>
<p>14 : 36 M22a The Sources of Magnetic Field Twist in Solar Active Regions ○ Shudong Bao (NAOC, NAOJ)、Takashi Sakurai and Yoshinori Suematsu (NAOJ)</p>	<p>09 : 24 M31a 2000年7月14日フレアにおける粒子加速 ○増田 智 (名大 STE 研)、小杉健郎 (宇宙研)、H. Hudson (SPRC)</p> <p>09 : 36 M32a Yohkoh Observations of Positron Annihilation Line from Gamma-Ray Flares ○ M. Yoshimori、S. Nakayama、H. Ogawa、H. Hirayama (Rikkyo University)、G. H. Share and R. J. Murphy (Naval Research Laboratory)</p>
<p>14 : 48 M23a フレア望遠鏡で得られた太陽活動領域の helicity の緯度分布 ○萩野正興 (明星大情報)、桜井 隆 (国立天文台)</p>	<p>09 : 48 M33a X線強度微小変動の詳細解析とナノフレアのエネルギー ○勝川行雄 (東大理)</p>
<p>15 : 00 M24a 太陽フレアにおける温度と磁場の関係 ○清原淳子、久田裕之、船津大輔、磯部洋明、柴田一成 (京大理)</p>	<p>10 : 00 M34a Sweet-Parker ピコフレアによる太陽コロナの加熱 ○常田佐久 (国立天文台)、勝川行雄 (東大理)</p>
<p>15 : 12 M25a 太陽フレアにおけるリコネクションレートの統計的研究 ○磯部洋明、森本太郎、成影典之、衛藤 茂、柴田一成 (京大理)</p>	<p>10 : 12 M35a Origins of CMEs in the lower corona ○宮脇 崇、増田 智 (名大 STE 研)</p>
<p>15 : 24 M27a 太陽フレアにおけるプラズモイド (バルーン) ○柴崎清登 (国立天文台野辺山)</p>	<p>10 : 24 M36a 混合 CME と惑星間擾乱の ○秋山幸子 (京大理天文台)、竹内智彦、水野陽介、森本太郎 (京大理)、柴田一成 (京大理天文台)、八代誠司 (CUA)</p>
<p>15 : 36 M28a MDGRAPE-2 による電流・渦フィラメントのシミュレーション ○八柳祐一、戎崎俊一 (理研)、羽鳥尹承 (神奈川大理)、加藤鞆一 (早大理工)</p>	<p>10 : 36 M37a The eruptiveness of solar disappearing filaments and its relation to coronal arcades formations ○森本太郎、黒河宏企 (京大理天文台)</p>
	<p>10 : 48 M38a CME の二つのタイプ (I) Loop-type CME の振る舞いについて ○鈴木 勲、内田 豊、森田 諭、田中智宏、吉楽高夫 (東京理科大)</p>

10/6 (土)		ポスターのみ
11:00	M39a ループ型 CME の 3 次元シミュレーションモデルによる解明 ○桑原諲二、Robert Cameron、内田 豊、田中智宏 (東京理科大)	M26c 重力成層大気内での磁気リコネクション (その 2) ○竹内彰継 (米子高専)、柴田一成 (京大理)
11:12	M40a SoHO/EIT による高緯度ダークフィラメント及びその周辺の構造と変化の観測(II) ○吉楽高夫、内田 豊 (東京理科大)	M42c 太陽画像改良システムの開発 ○三浦則明、小玉直樹 (北見工大)、北 洋、馬場直志 (北大工)、大鎌広、小田切秀暁 (室蘭工大)、一本潔、桜井 隆 (国立天文台)
11:24	M41a Can CME-driven shock waves accelerate particles up to > 10 MeV ? ○田 光江 (通総研)、吉田龍生 (茨城大理)、山下和之 (千葉大総メセ)	

N. 恒星 (C 会場)

10/4 (木)		10/4 (木)
10:00	N01a 重力崩壊型超新星における電子捕獲反応の爆発機構への影響 ○玉村雅也、和南城伸也、伊藤直紀 (上智大理工)、野澤 智 (城西女子短大)	11:00 N07a 降着による白色矮星の回転と Ia 型超新星の明るさの多様性 ○上西達大、野本憲一 (東大理)、蜂巢 泉 (東大総合文化)
10:12	N02a II 型超新星爆発による元素合成と金属欠乏星の化学組成 ○白水麻里意、小林千晶、中村敬喜、梅田秀之、野本憲一 (東大理)	11:12 N08a 宇宙初期の超新星爆発時におけるダスト形成 I ○野沢賢也、小笹隆司 (北大理)、梅田秀之、野本憲一 (東大理)
10:24	N03a 超新星ニュートリノによる微量軽元素合成と r-process ○吉田 敬、橋本正章 (九大理)、寺澤真理子 (東大理)、梶野敏貴 (国立天文台)、G. J. Mathews (Univ. of Notre Dame)、住吉光介 (沼津高専)	11:24 N10b 超新星爆発内部の Rayleigh-Taylor 不安定性の成長による物質混合 ○野呂文人、宮路茂樹、山下和之、小川智也、太田琢磨 (千葉大)
10:36	N04a 超新星爆発におけるウラン・トリウムの合成と宇宙年代学 ○和南城伸也、玉村雅也、伊藤直紀 (上智大理工)、野澤 智 (城西大)	N11b 中間子凝縮が中性子星冷却に及ぼす影響 ○佐伯圭一、橋本正章、小池修、黒水玲子 (九大理)、藤本正行 (北大理)
10:48	N06a rp-process Nucleosynthesis in ONeMg Novae ○岩本信之 (国立天文台)、和南城伸也 (上智大理工)、梶野敏貴 (国立天文台)、久保野茂 (東大 CNS)、小川建吾 (千葉大理)、野本憲一 (東大理)	N12b 微分回転ポリトロープの bar-mode dynamical 不安定性 ○鷹野 重之 (東大総合文化)、吉田慎一郎 (SISSA)、江里口 良治 (東大総合文化)
		11:36 N13a 相対論的電磁流体力学 (Force-Free 近似) によるパルサーダイナミクス ○浅野栄治 (東京理科大)、内田俊郎 (獨協大)、内田 豊、廣瀬重信、鈴木幸朗 (東京理科大)

10/4 (木)	10/4 (木)
<p>11 : 48 N14a PSR1706-44 の CANGAROO-II 10m 望遠鏡による観測 ○榊田淳子 (東工大理)、谷森 達、窪秀利 (京大理)、他 CANGAROO チーム (茨城大理、茨城医療大、宇宙研、大阪市大理、神奈川大工、甲南大理、国立天文台、信州大工、東海大理、東大宇宙線研、名大 STE 研、山形大理、山梨学院大、理研、アデレード大、オーストラリア国立大)</p>	<p>15 : 12 N21b PSR J0631+1036 からの X 線パルスの検出 ○鳥居研一 (理研)、斎藤芳隆、長瀬文昭、山上隆正 (宇宙研)、釜江常好 (広島大)、平山昌治 (Univ. of California at Santa Cruz)、河合誠之 (東工大/理研/宇宙開発事業団)、桜井郁也、並木雅章 (理研)、柴田晋平、郡司修一 (山形大)、J. P. Finley (Purdue Univ.)</p>
<p>14 : 00 N15a ASCA による電波パルサーの観測 ○桜井郁也、河合誠之、鳥居研一 (理研)、柴田晋平 (山形大)、斎藤芳隆 (宇宙研)</p>	<p>N22b 「あすか」による Be 星 X 線連星 RX J0440.9+4431/BSD 24-491 の観測 ○長瀬文昭 (宇宙研)、前田真路 (三菱スペースソフトウェア)、松本千穂 (オクラホマ大)、石田 学 (都立大)、国枝英世 (宇宙研)</p>
<p>14 : 12 N16a 「あすか」による X 線パルサー GX301-2 からの広がった鉄輝線の解析 ○石田 学 (都立大)、遠藤貴雄 (三菱電気)、国枝秀世 (宇宙研)、長瀬文昭 (宇宙研)</p>	<p>N23b 「あすか」による SS 433 連星周期観測 III ○並木雅章 (理研)、河合誠之 (東工大/理研)、小谷太郎 (NASA/GSFC)</p>
<p>14 : 24 N17a Chandra による Vela X-1 の観測: I. 概要及びコンプトン反跳鉄輝線 ○長瀬文昭 (宇宙研)、迫 昌男、S. Kahn、F. Paerels (Columbia Uni.)、D. A. Liedahl (LLNL)、P. Wojdowski、N. Schulz (MIT)、B. Paul (TATA)、牧島一夫 (東大理)、石田 学 (都立大)</p>	<p>15 : 24 N24b X 線新星 XTE J1118+480 の光度曲線解析 ○本川正美、福江 純 (大阪教育大)</p> <p>N27b 熱伝導と彩層蒸発の効果を含む原始星フレアの流体シミュレーション ○磯部洋明 (京大理)、横山央明 (国立天文台野辺山)、柴田一成 (京大理)</p>
<p>14 : 36 N18a RXTE を用いた、パルサー LMC X-4 のサイクロトロン共鳴吸収線の探査 ○中島基樹 (日大理工/理研)、三原建弘、桜井郁也、鳥居研一、山岡和貴 (理研)、牧島一夫 (東大理/理研)</p>	<p>N28b 降着円盤の磁気圏境界層で起こる円盤振動の 2 次元数値実験 ○加藤成晃 (千葉大自然)、林 満 (JST 研究員/国立天文台)、松元亮治 (千葉大理)</p>
<p>14 : 48 N19a New Results from ASCA on the Type II Bursts of the Rapid Burster ○井上 一、Putra Mahasena (宇宙研)</p>	<p>15 : 36 N31b スリムディスク構造は自己相似解でうまく記述できるか? ○渡会兼也 (京大理)、嶺重 慎 (京大基研)</p>
<p>15 : 00 N20a ブラックホール候補天体 4U1630-47 の「あすか」および RXTE による観測の解析 ○笠岡太介、高橋弘充、牧島一夫 (東大理)、久保田あや (宇宙研)</p>	<p>N32b 降着とエネルギー抽出によるブラックホールの質量・角運動量変化 ○阿部純也 (茨城大理工)</p> <p>N33b 一般相対論的な Resistive-MHD コードによるリコネクションの計算 ○萬本忠宏 (千葉大理)</p>
	<p>15 : 48 N34a X 線観測によるブラックホール周りの標準降着円盤の検証 2 -- 光学的に厚い ADAF の可能性 ○久保田あや (宇宙研)、牧島一夫 (東大理)</p>

10/4 (木)		10/5 (金)	
16:00	N35a X線観測によるマイクロクエーサー GRS 1915+105の降着流の研究 ○山岡和貴(理研)、上田佳宏、井上一(宇宙研)		N43b 球状星団 M4の「あすか」による観測 ○石川 輝、石田 学、石崎欣尚、大橋隆哉(都立大)、牧島一夫(東大理/理研)、根来 均(理研)
16:12	N36a ブラックホールへの降着流中に生成する内向きに伝播する衝撃波 ○青木成一郎(東大理)、小出真路(富山大工)、工藤哲洋(国立天文台)、柴田一成(京大理)	10:00	N44a 惑星系形成に対する日震学太陽モデルからの示唆 ○柴橋博資、渡辺 悟(東大理)
16:24	N37a ブラックホール磁気降着流におけるスペクトル形成 ○嶺重 慎(京大基研)、川口俊宏(京大理)、萬本忠宏、町田真美、松元亮治(千葉大理)	10:12	N45a Hg-Mn 星 46 Aql (HD186122)の化学組成 ○定金晃三(大阪教育大)、比田井昌英(東海大)、竹田洋一(東大理)、青木和光、本田敏志、梶野敏貴、川野元 聡、野口邦男(国立天文台)、安藤裕康、沖田喜一(国立天文台ハワイ)、泉浦秀行、渡辺悦二(国立天文台岡山)、佐藤文衛(東大理)、神戸栄治(防衛大)
16:36	N38a L型矮星における、H及びKバンドでのメタンの検出 ○中島 紀(国立天文台)、辻 隆(東大理)、柳澤顕史(国立天文台岡山)	10:24	N46a s-過程元素の過剰を示さない炭素過剰金属欠乏星の化学組成 ○青木和光、安藤裕康(国立天文台)、J. E. Norris (Australian National Univ.)、S. G. Ryan (Open Univ.)、T. C. Beers (Michigan State Univ.)
10/5 (金)			
09:24	N39a IUE and ISO observations of the bipolar proto-planetary nebula Hen 401 (IRAS 10178-5958) ○M. Parthasarathy (NAOJ)、P. Garcia-Lario (ISO data Centre, Spain)、G. Gauba (IIA, India)、D. de Martino (Observatorio Astronomico di Capodimonte, Italy)、Y. Nakada (IoA, Kiso)、T. Fujii (NAOJ)、S. R. Pottasch (Kapteyn Astronomical Institute, The Netherlands)	10:36	N47a 炭素星周層におけるC ₂ 分子—その探査と形成領域について ○木全理恵(京大理)、泉浦秀行(国立天文台岡山)、増田盛治、平田龍幸(京大理)、柳澤顕史、HIDES 製作グループ(国立天文台岡山)
09:36	N40a A 3 μm study of AFGL 2688 ○後藤美和(国立天文台ハワイ/ハワイ大学)、Alan Tokunaga (ハワイ大学)、寺田 宏、小林尚人(国立天文台ハワイ)	10:48	N48a ISOによる赤色巨星のスペクトル:K型巨星 Aldebaran にも存在した高温水蒸気 ○辻 隆(東大理)
09:48	N41b HDSによる銀河系ハロー惑星状星雲 H4-1の分光観測 ○田実晃人(国立天文台岡山)、青木和光、川野元 聡、野口邦男(国立天文台)、増田盛治(京大理)	11:00	N49a Mass-loss from Semi-regular Variables ○Ian S. Glass (SAAO/NAO)
	N42b Analysis on internal motions of halo planetary nebula, Ha4-1 ○大塚雅昭、田村真一(東北大理)、矢動丸 泰(みさと天文台)、田実晃人(国立天文台)	11:12	N50a シリケイト炭素星 BM Gemからの高速・高温ガス流の発見 ○泉浦秀行、野口邦男、青木和光、安藤裕康、沖田喜一、梶野敏貴、川野元 聡、本田敏志、渡辺悦二、(国立天文台)、定金晃三(大阪教育大)、比田井昌英(東海大)、神戸栄治(防衛大)、佐藤文衛(東大理)

10/5 (金)		ポスターのみ
11:24	N51a 赤外発光バンドの炭素同位体効果 ○和田節子 (電通大)、尾中 敬 (東大理)、山村一誠 (宇宙研)	N05c r-process nucleosynthesis in Type-II Supernova Model with Neutron Star Mass $\sim 1.4 M_{\odot}$ ○寺澤真理子 (東大天文)、住吉光介 (沼津高専)、梶野敏貴 (国立天文台)、G. Mathews (Notre Dome 大)、K. Langanke (Arhus 大)
11:36	N52b 熱及び輻射の複合過程による赤色巨星の星風の理論 II ○鈴木 建 (国立天文台/東大理)	N09c 重力崩壊型超新星爆発におけるショックブレイクアウト ○中村敬喜 (東大理)、岩本弘一 (日大理工)、野本憲一 (東大理)
	N53b 準規則変光星 RT Vir に付随する水メーザーの三次元運動及び加速度運動 ○今井 裕、柴田克典、笹尾哲夫、三好 真、井上 允 (国立天文台)、Kevin B. Marvel (アメリカ天文学会)、Philip J. Diamond (ジョドレルバンク観測所)、Victor Migenes (メキシコ大)、村田泰宏 (宇宙研)	N25c ボンチ降着 onto 降着円盤 ○福江 純 (大阪教育大教育)
	N54b IRTS/MIRS 点源天体カタログの公開 ○山村一誠 (宇宙研)、尾中 敬、大坪貴文、石原大助、Kin-Wing Chan、田辺俊彦 (東大理)、Thomas L. Roellig (NASA Ames)、松浦美香子 (UMIST)、村上 浩 (宇宙研)、田中昌宏 (NASA Goddard)	N26c 風降着による降着円盤への質量降着率 ○花本圭史、福江 純 (大阪教育大教育)
11:48	N55b CP2 星 HD 221568 の分光解析 (I) ○西村昌能 (府立洛東高校)、定金晃三 (大教大)、比田井昌英 (東海大)、野口邦男、青木和光、川野元聡、本田敏志、佐藤文衛、安藤裕康 (国立天文台、HDS 試験観測チーム)、小平桂一 (総研大)	N29c 相対論的円盤での非軸対称捕獲 g - モード振動と kHz QPOs ○加藤正二 (奈良産大情報)
	N56b すばる HDS による金属欠乏星の重元素化学組成 ○本田敏志、青木和光、安藤裕康、梶野敏貴、川野元 聡、野口邦男 (国立天文台)、定金晃三 (大阪教育大)、比田井昌英 (東海大)、竹田洋一 (駒沢大)、佐藤文衛 (東大)、HDS グループ	N30c 重力成層中の熱伝導不安定性の数値実験 ○中村賢仁 (松江高専)、松元亮治 (千葉大理)、宮路茂樹 (千葉大自然)
	N57b R 型炭素星と球状星団における恒星の物質混合(II) ○須田拓馬、藤本正行 (北大理)	N58c 大小マゼラン星雲中の AGB 変光星探査 ○板 由房、田辺俊彦、中田好一 (東大理)、中嶋千恵、中島 康、永山貴宏、加藤大輔、栗田光樹夫、長田哲也、佐藤修二 (名大理)
12:00	N59b おうし座 RV 型星における 2:1 共鳴：時間発展シミュレーションによる検討 ○石田俊人 (兵庫県立西はりま天文台)	N60c Windows 上での光度曲線合成ソフトと TV Cas の解析の実際 ○中村泰久、近藤正宏、細井淑子、緑河里恵、澤田ちひろ、古関美和子 (福島大教育)

P. 星・惑星形成 (B会場)

10/4 (木)	10/4 (木)
<p>10:00 P01b H II 領域 S140 の近赤外撮像観測 ○田口優介、伊藤洋一 (神戸大自然)</p> <p>P03b GG Tau に付随する原始惑星系円盤のコロナグラフ観測 ○伊藤洋一 (神戸大)、田村元秀、周藤浩士、林 左絵子、村川幸史 (国立天文台)、深川美里、直井隆浩 (東京大)、大朝由美子 (宇宙開発事業団)</p> <p>P04b ASTE によるオリオン座 KL 領域アウトフローの CO(J=3-2,2-1) マッピング観測 ○山口伸行、斎藤智樹 (国立天文台野辺山)、ASTE チーム</p> <p>10:12 P05b <i>Chandra</i> 衛星による Monoceros R2 Cloud の X 線観測 II ○河野 誠 (京大理)、浜口健二 (宇宙開発事業団)、小山 勝二 (京大理)</p> <p>P06b あすか衛星によるカメレオン座分子雲の観測 ○山内茂雄 (岩手大人社)、小山勝二 (京大理)</p> <p>P07b OMC-2/3 星生成領域における YSOs の X 線観測と近赤外線対応 ○辻本匡弘、小山勝二 (京大理)、坪井陽子 (ペンシルバニア大)、後藤美和、小林尚人 (国立天文台)</p> <p>10:24 P08b NMA/ASTE による原始星 L1551NE の星周高密度ガスの CS/¹³CO 分子輝線観測 ○横川創造 (総研大三鷹)、北村良実 (宇宙研)、百瀬宗武 (茨城大理)、川辺良平 (国立天文台)、他 ASTE グループ</p> <p>P09b ブライトリム雲の CS 輝線サーベイ ○仲野 誠 (大分大教育)、杉谷光司 (名古屋市大自然セ)、小倉勝男 (國學院大)、砂田和良 (国立天文台野辺山)</p> <p>P10b 散開星団の広域測光観測 I. NGC 7654 ○小倉勝男 (国学院大)、樽沢賢一 (木曾観測所)、A. K. Pandey, Nilakshi (State Observatory, India)</p>	<p>10:36 P11b 野辺山ミリ波干渉計による M16 の観測：連鎖的星形成の発見 ○福田尚也 (千葉大理)、杉谷光司 (名市大)、花輪知幸 (名大理)</p> <p>P12b 衝撃波による分子雲コアの重力崩壊 ○本山一隆、吉田龍生 (茨城大理)</p> <p>P13b 系外惑星系の多様性と中心星の重元素存在度 ○井田 茂、小南 淳子 (東工大理)、D. N. C. Lin (Lick 天文台)</p> <p>10:48 P14a オリオン巨大分子雲中の高密度分子ガスと星形成活動：「なんてん」による H¹³CO⁺ (J=1-0) 観測 ○青山紘子、水野範和、齋藤弘雄、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p> <p>11:00 P15a ケンタウルス座領域における分子雲クランプの C¹⁸O 分子輝線観測 ○齋藤弘雄、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p> <p>11:12 P16a 「なんてん」によるへびつかい座—おおかみ座領域の分子雲広域探査 ○豊田秋一郎 (名大理)、立原研悟 (MPE)、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p> <p>11:24 P17a SIRIUS および BEARS によるおおかみ座星形成領域 Lupus3 の観測：Discovery of diffuse IR light surrounding dark cloud cores ○中島 康、長田哲也、永山貴宏、長嶋千恵、加藤大輔、栗田光樹夫、河合利秀、佐藤修二 (名大理)、田村元秀、中屋秀彦、砂田和良 (国立天文台)、杉谷光司 (名市大)、大朝由美子 (NASDA)、直井隆浩 (東大理)</p> <p>11:36 P18a 近赤外 3 色同時撮像カメラ SIRIUS による M16 の観測 ○杉谷光司 (名古屋市立大)、田村元秀、中谷秀彦 (国立天文台)、永山貴宏、長島千恵、中島康 (名古屋大)、Andrew Pickles (ハワイ大)、SIRIUS 開発チーム、福田尚也 (千葉大)、小倉勝男 (国学院大)</p>

10/4 (木)		10/4 (木)	
11:48	P19a 中間赤外域での若い中間質量星の分光観測 ○田窪信也 (東大理)、山下卓也、岡本美子 (国立天文台)、片ざ宏一 (宇宙研) 尾中 敬、宮田隆志、酒向重行、本田充彦 (東大理)	15:24	P27a 照射加熱影響下の原始惑星系円盤の構造と不安定性 ○野村英子 (京大理)
14:00	P20a 野辺山ミリ波干渉計を用いた原始惑星系円盤のイメージング・サーベイ(1) 観測結果 ○百瀬宗武 (茨城大理)、北村良実 (宇宙研)、横川創造 (総研大)、川辺良平、田村元秀 (国立天文台)、井田茂 (東工大理)	15:36	P28a 磁気回転不安定性の非線形成長と飽和過程 ○犬塚修一郎 (京大理)、佐野孝好 (米国メリーランド大)
14:12	P21a 野辺山ミリ波干渉計を用いた原始惑星系円盤のイメージング・サーベイ(2)モデル解析 ○北村良実 (宇宙研)、百瀬宗武 (茨城大理)、横川創造 (総研大)、川辺良平、田村元秀 (国立天文台)、井田茂 (東工大理)	15:48	P29a 電磁流体 Jet Model の 3 次元非軸対称の取り扱い ○木暮宏光、内田 豊、広瀬重信、中村雅徳 (東京理科大)
14:24	P22a オリオン・プロプリッドの水素分子輝線分光観測 ○山下卓也、本原顕太郎、小林尚人、寺田 宏、後藤美和、林 正彦、岡本美子、森野潤一 (国立天文台)、宮田隆志 (東大理)、片坐宏一 (宇宙研)	16:00	P32a 原始惑星とガス円盤との重力相互作用 ○酒井 圭、井田 茂 (東工大理)
14:36	P23a Chandra 衛星による ρ Oph 星形成領域内の褐色矮星からの X 線探査 ○今西健介、辻本匡弘、小山勝二 (京大理)	16:12	P33a 原始惑星系円盤との重力相互作用を考慮した地球型惑星形成 ○小南淳子、井田 茂 (東工大地惑)
14:48	P24a SED による原始星の観測角度の推定 ○中里 剛、中本泰史、梅村雅之 (筑波大物理)	16:24	P34a 連星系とそれを取り巻くガス円盤の潮汐相互作用 ○今枝佑輔 (国立天文台)、犬塚修一郎 (京大理)
15:00	P25a 種族 III 大質量星の形成 ○大向一行 (国立天文台)、Francesco Palla (アルチェトリ天文台)	16:36	P35a ガス円盤からの降着による連星の成長 佐々木貴久 (名大理/札幌日大高)、○花輪知幸 (名大理)
15:12	P26a 星形成における磁場急速散逸機構 ○中野武宣、西 亮一 (京大理)、梅林豊治 (山形大総合情報センター)	16:48	P36a コンドリュールのサイズの上限について ○須佐 元、中本泰史 (筑波大計算物理)
		10/5 (金)	
		09:24	P37a L1551 領域の CS 広域マッピング観測 ○湯浅勝人、姫野洋平、井田 茂 (東工大理)、北村良実 (宇宙研)、砂田和良 (国立天文台野辺山)
		09:36	P38a 13CO (J=2-1) 輝線による近傍原始星 L1551IRS5 の高分解能観測 ○坂東磨沙人 (東大理)、横川創造 (総研大)、北村良実 (宇宙研)、川辺良平 (国立天文台)

<p>10/5 (金)</p> <p>09:48 P39a The L1551 IRS 5 Jet: A Collimated Fast Jet around a Widely Opened Wind ○T. - S. Pyo、林 正彦、小林尚人、寺田 宏、後藤美和、山下卓也 (国立天文台)、A. T. Tokunaga (UH IfA)、伊藤洋一 (神戸大学)</p> <p>10:00 P40a HCO⁺ (J=1-0) Interferometry of the Shocked Outflow in the Orion-KL Region ○齋藤智樹 (東大理)、百瀬宗武 (茨城大)、川辺良平、砂田和良、鎌崎 剛 (NRO)、平野尚美 (ASIAA)</p>	<p>ポスターのみ</p> <p>P02c NGC1333 領域における褐色矮星を含めた光度関数 ○大朝由美子 (宇宙開発事業団)、田村元秀 (国立天文台)、中島 康、長嶋千恵、永山貴宏 (名大)、杉谷光司 (名古屋市立大)、SIRIUS 開発チーム</p> <p>P30c 宇宙ジェットの安定性と knot 生成 ○加藤精一 (東大理)、工藤哲洋 (国立天文台)、松元亮治 (千葉大)、柴田一成 (京大理)</p> <p>P31c 3次元 MHD Nested grid シミュレーションによる星間磁気雲の重力収縮 ○町田正博 (北大理)、富阪幸治 (国立天文台)、松本倫明 (法政大人間環境)</p>
--	--

Q. 星間現象 (B会場)

<p>10/5 (金)</p> <p>10:12 Q01a BEARS Star-Formation Project 2 : H¹³CO⁺ 1-0 で見る TMC-1 フィラメントの詳細構造 ○砂田和良、河村晶子、宮崎敦史 (国立天文台野辺山)、米倉覚則 (大阪府大総合科学)、北村良実 (宇宙研)、犬塚修一郎 (京大理)</p> <p>10:24 Q02a BEARS Star-Formation Project 3 : Taurus-Auriga 領域における ¹³CO J=1-0 観測 (2) ○宮崎敦史、砂田和良、河村晶子 (国立天文台野辺山)、北村良実 (宇宙研)、犬塚修一郎 (京大理)、森野潤一、阪本成一 (国立天文台)</p> <p>10:36 Q03a BEARS Star-Formation Project 4 : BEARS/ASTE による高銀緯分子雲 MBM26 の CO 分子輝線観測 ○河村晶子、宮崎敦史、砂田和良 (国立天文台野辺山)、北村良実 (宇宙研)、犬塚修一郎 (京大理)、阪本成一 (国立天文台)、山口伸行、江澤 元、河野孝太郎 (国立天文台野辺山)、他 ASTE チーム</p>	<p>10/5 (金)</p> <p>10:48 Q05a 「なんてん」による MBM53、54、55 を含む高銀緯分子雲複合体の観測 ○山本宏昭、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p> <p>11:00 Q06a 巨大分子雲のマススペクトラムについて ○福井康雄、水野範和、山口玲子、その他なんてんチーム (名大理)</p> <p>11:12 Q07b 「なんてん」による高銀緯分子雲の探査 ○大西利和、山本宏昭、水野亮、福井康雄 (名大理)、他「なんてん」グループ</p> <p>Q08b ASTE 及び野辺山 45m 鏡による W43 巨大分子雲観測 ○杉本正宏、澤田剛士、半田利弘、山本文雄、内藤誠一郎 (東大理)、長谷川哲夫 (国立天文台)、河村晶子、山口伸行、河野孝太郎、江澤 元 (国立天文台野辺山)、ASTE チーム</p> <p>Q09b 超新星残骸サーベイをベースにした高分解能フォローアップ観測 ○山本文雄 (東大理)、長谷川哲夫 (国立天文台)、澤田剛士、杉本正宏、半田利弘 (東大理)</p>
---	--

<p>10/5 (金)</p>	<p>10/5 (金)</p>
<p>11:24 Q10b ASCAによる宇宙線加速超新星残骸の探査 ○馬場 彩、植野 優、小山勝二 (京大理)、山内茂雄 (岩手大人社)</p>	<p>14:12 Q19a 「なんてん」による銀河系第4象限のCO観測 ○松永健一、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p>
<p>Q11b Chandra衛星で見た超新星残骸G0.57-0.01および銀河中心拡散成分 ○千田篤史、高木慎一郎、村上弘志、小山勝二 (京大理)</p>	<p>14:24 Q20a フィラメント状分子雲に沿って形成された分子雲コアの化学組成 ○前澤裕之 (国立天文台野辺山)、大橋永芳 (中央研究院)、山本 智 (東大理)</p>
<p>Q12b Chandraによる銀河中心Sgr A領域の超新星残骸からのX線検出 ○村上弘志、千田篤史、高木慎一郎、小山勝二 (京大理)</p>	<p>14:36 Q21a 星間分子雲における中性炭素原子分布の意味 ○山本 智 (東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ</p>
<p>11:36 Q13b 星間ガスの速度構造について ○小山 洋 (国立天文台)</p>	<p>14:48 Q22a 富士山頂サブミリ波望遠鏡によるρ Oph暗黒星雲に対する中性炭素原子輝線($\text{C}^{\text{I}}\text{P}_1 - ^3\text{P}_0, ^3\text{P}_2 - ^3\text{P}_1$)の観測 ○亀谷和久、岡 朋治、山本 智 (東大理)、他富士山頂サブミリ波望遠鏡グループ</p>
<p>Q14b Dissociative Recombination of H_3^+. III ○田代基慶 (京大物理)、加藤重樹 (京大化学)</p>	<p>15:00 Q23a ASCAとROSATによる小マゼラン雲のSNRのX線撮像分光 ○横川 淳、今西健介、小山勝二 (京大理)、西内満美子 (原子力研)、水野 範和 (名大理)</p>
<p>Q15b 星間塵表面上での水素分子形成と分子雲形成領域の新しいプローブ光 ○高橋順子 (理研情報基盤)、上原英也 (SGI日本)、斎藤正雄 (CfA, Harvard-Smithsonian)、白田知史、白田-佐藤功美子、小林尚人 (国立天文台ハワイ)</p>	<p>15:12 Q24a 非熱的超新星残骸候補AX J1843.8-0352のChandra衛星による観測 ○植野 優、馬場 彩、小山勝二 (京大理)、山内茂雄 (岩手大)、海老沢 研 (NASA/GSFC)</p>
<p>11:48 Q16b ライマン光子に対するダストモデルの光学特性—その妥当性を観測的に評価する方法 ○井上昭雄 (京大理)</p>	<p>15:24 Q25a XMM-NewtonによるVela Shrapnel-Aの観測 ○宮田恵美 (阪大理)、B. Aschenbach (MPE)</p>
<p>Q17b 結晶質バイロキシンの赤外吸収における組成依存 ○茅原弘毅 (阪大理/京都薬大)、小池千代枝 (京都薬大)、土'山明 (阪大理)</p>	<p>15:36 Q27a 銀河中心領域の最高エネルギー加速器 ○小山勝二、横川 淳、村上弘志 (京大理)、前田良知 (ISAS)</p>
<p>14:00 Q18a 「なんてん」による銀河系第1象限の^{12}CO ($J=1-0$)観測 ○小出直久、森口義明、松永健一、大西利和、水野 亮、福井康雄 (名大理)</p>	<p>15:48 Q28a 「チャンドラ」によるX線観測を用いたSgrB2領域の点源解析 ○高木慎一郎、村上弘志、千田篤史、小山勝二 (京大理)</p>

<p>10/5 (金)</p> <p>16:00 Q29a CANGAROO-II 望遠鏡による超新星残骸ガンマ線観測による宇宙線起源の解明 ○谷森 達 (京大理)、榎本良治 (東大宇宙線研)、原 敏 (東工大理)、内藤統也 (山梨学院大) 他 CANGAROO チーム (茨城大理、茨城医療大、宇宙研、大阪市大理、神奈川大工、甲南大理、国立天文台、東海大理、東大宇宙線研、名大 STE 研、山形大理、山梨学院大、理研、アデレード大、オーストラリア国立大)</p> <p>16:12 Q30a 超新星残骸 G347.3-0.5 (RX J1713.7-3946) からの多波長にわたる放射の理論モデル ○内藤統也 (山梨学院大)、谷森 達 (京大理)、榎本良治 (東大宇宙線研)、富田 洋 (宇宙開発事業団、CANGAROO チーム (茨城大理、茨城医療大、宇宙研、大阪市大理、神奈川大工、甲南大理、国立天文台、信州大工、東海大理、東大宇宙線研、名大 STE 研、山形大理、山梨学院大、理研、アデレード大、オーストラリア国立大)</p>	<p>10/6 (土)</p> <p>10:12 Q35a すばる HDS による星間物質中の Li 同位体比の観測 ○川野元 聡、安藤裕康、梶野敏貴、青木和光、本田敏志、野口邦男 (国立天文台)、比田井昌英 (東海大)、佐藤文衛 (東大理)、すばる HDS グループ</p> <p>10:24 Q36a 膨張衝撃波の不安定性と分裂条件 ○西 亮一 (京大理)、釜谷秀幸 (京大理、Oxford Univ.)</p> <p>10:36 Q37a BCD 銀河の H_I envelope におけるスーパーシェルの進化モデル ○南野公彦、井上昭雄、釜谷秀幸 (京大理)</p> <p>.....</p> <p>ポスターのみ</p> <p>Q04c 60cm 望遠鏡によるおうし座分子雲の ¹²CO, ¹³CO J=2-1 観測 ○内藤誠一郎 (東大理)、長谷川哲夫 (国立天文台)、半田利弘、澤田剛士、山本文雄、杉本正宏 (東大理)、森野潤一 (国立天文台)</p>
<p>10/6 (土)</p> <p>09:24 Q31a 若い原始惑星状星雲 IRAS19312+1950 に対するミリ波分子輝線探査 ○中島淳一 (総研大/NRO)、出口修至 (NRO)</p> <p>09:36 Q32a すばる +COMICS による Red Rectangle の中間赤外観測(2) 20 ミクロン帯撮像観測によるディスクの直接分解 ○宮田隆志、酒向重行、田窪信也、本田充彦、尾中敬 (東大理天文)、片ざ宏一 (宇宙研)、岡本美子、山下卓也 (国立天文台)、すばる望遠鏡チーム</p> <p>09:48 Q33a S171 領域の遠赤外線分光観測 — ダスト破壊の証拠と[O]輝線の振舞 ○岡田陽子、尾中 敬 (東大理)、土井靖生 (東大総文)、芝井 広 (名大理)</p> <p>10:00 Q34a IRTS/FIRP による銀河面サブミリ波拡散放射光の観測 ○平尾孝憲、佐藤紳司 (名大理)、松本敏雄 (宇宙研)、Andrew E. Lange (カリフォルニア工科大学)</p>	<p>Q26c ASCA/GIS による大マゼラン雲の超新星残骸 30 Dor C のスペクトル ○小松英之、田中竜介、伊藤真之 (神戸大発達科学)</p>

R. 銀河 (A 会場)

10/4 (木)	10/4 (木)
10:00	11:00
R01b Synthesis Imaging of Dense Gas in the Central Regions of the Edge-on Galaxies NGC 3079 and NGC 3628 with RAINBOW ○芝塚 要公 (東大理)、松下 聡樹 (CfA)、河野孝太郎、川辺良平 (国立天文台野辺山)	R10a Seyfert/starburst 銀河 NGC 7469 の NMA、RAINBOW 干渉計による高分解能観測 ○沖浦 真保子 (東大理)、奥村 幸子、河野孝太郎 (国立天文台野辺山)、芝塚 要公 (東大理)、川辺良平 (国立天文台)
R02b 「なんてん」による LMC の CO 高感度観測: 7. シェルによる星形成 2 ○山口 玲子、水野 範和、山本 宏昭、森口 義明、大西 利和、水野 亮、福井 康雄 (名大理)	11:12 R11a Seyfert2 銀河 NGC4501 の CO(1-0)観測: 中心部ガスの構造 ○小野 寺幸子、祖父江 義明 (東大理)、野辺山 干渉計長期共同利用グループ
R03b 銀河系 HI ガス分布の 3 次元的考察 ○中西 裕之、祖父江 義明 (東大理天文センター)	11:24 R12a NGC253 における H ₂ CS 分子の検出とその起源 ○大池 知子 (核融合研)、川口 建太郎 (岡大理)、高野 秀路、中井 直正 (NRO)
10:12	11:36
R04b 中間年齢の散開星団の探査 ○長谷川 隆、H. L. Malasan、大林 均、河北 秀世、倉林 勉 (県立ぐんま天文台)、中井 辰治 (サンケン電気 (株))、百海 正明 (群馬大教育)	R13a 系外銀河 Maffei 2 でのアンモニアの観測 ○高野 秀路、中井 直正 (国立天文台野辺山)、川口 建太郎 (岡山大理)、鷹野 敏明 (千葉大自然)
R05b 銀河円盤の法線方向の力学的安定性 ○松林 達史 (東工大)、戎崎 俊一 (理研)	11:48 R14a 棒渦巻銀河 Maffei 2 における分子ガスの動力学 ○徂 徠和夫、西山 広太、久野 成夫、中井 直正、石原 裕子 (国立天文台野辺山)
R06b 非等方な速度分散を持ったハロー中における力学的摩擦 ○出田 誠 (京大理)	14:00 R15a 太陽近傍星の年齢から見た銀河系—thick disc と thin disc ○伊吹山 秋彦 (国立天文台/東大理)、有本 信雄 (国立天文台)
10:24	14:12
R07a 銀河中心から数パーセク以内に存在する一酸化珪素メーザー源の観測 ○出口 修至 (国天野辺山)、藤井 高宏 (国立天文台/鹿児島大)、三好 真 (国立天文台)、中島 淳一 (総研大)	R16a 銀河系の総質量に対する新しい制限 ○坂本 強 (総研大)、千葉 柁司 (国立天文台)、T. C. Beers (Michigan State Univ.)
10:36	14:24
R08a Molecular Warp:「なんてん」による銀河系外縁部の CO 分子雲観測 ○森口 義明、松永 健一、中川 真規、福井 康雄 (名大理)	R17a ディスク銀河における軌道の力学進化の解析 ○矢野 太平 (国立天文台)、官谷 幸利 (東大)、郷田 直輝 (国立天文台)
10:48	14:36
R09a 「なんてん」による LMC の CO 観測: 6. CO アークと巨大分子雲形成 ○水野 範和、山口 玲子、齋藤 弘雄、大西 利和、水野 亮、福井 康雄 (名大理)	R18a SgrA* の視差測定におけるクエーサーの重力レンズ位置揺らぎ II ○細川 瑞彦 (通信総研)、大西 浩次 (長野高専)、福島 登志夫 (国立天文台情報公開センター)

10/4 (木)		10/4 (木)	
14:48	R19a 重力レンズによる我々銀河中心の見かけの永年固有運動 ○大西浩次 (長野高専)、細川瑞彦 (通信総研)、福島登志夫 (国立天文台)	16:36	R28b 原初水素分子ガスの赤外線分光による観測可能性 ○芝井 広 (名代理)、竹内 努 (東大センター)、T. N. Rengarajan (タタ基礎科学研究所)、平下博之 (Arcetri 天文台)
15:00	R20a 「あすか」衛星による binary 銀河の観測 ○栗木久光 (愛媛大理)、松本浩典 (MIT)、富田洋 (NASDA)		R29b Confusion and Statistical Biases in the Estimation of Galaxy Evolution from IR Observations ○竹内 努 (国立天文台 / 東大天文センター)、石井貴子 (京大理附属天文台)
15:12	R21a Peculiar Velocities of the Galaxies beyond the Local Void. I. ○岩田 生、太田耕司 (京大理)、中西康一郎 (国立天文台 野辺山)、Adel T. Roman (NRIAG, Egypt)、Pierre Chamaraux (Observatoire de Paris, France)		R30b 赤外線スペースアストロメトリ (JASMINE) 計画 ○郷田直輝、辻本拓司、中島 紀、小林行泰、安田直樹 (国立天文台)、松原英雄 (宇宙研)、上野宗孝 (東大総合文化)
15:24	R22a Study of “fossil” group candidates observed with ASCA ○吉岡 努、古澤彰浩、秋本文江、田原 譲、佐藤紳司、山下広順 (名大理)、渡辺 学 (宇宙研)、隈井泰樹 (熊本学園大)	16:48	R31b Survey of VLBI Radio Sources for Project VERA ○小山友明、木村守孝 (東大理)、本間希樹、笹尾哲夫 (国立天文台)、VERA グループ
15:36	R23a Effects of multiple supernovae on forming dwarf galaxies:II ○森正夫 (専修大)、Andrea Ferrara (アルチエトリ天文台)、Piero Madau (カリフォルニア大)	
15:48	R24a 矮小銀河の進化とそれに伴う局所領域の時間変動 ○川崎由佳理 (日本 HP/お茶大理)、曾田康秀、森川雅博 (お茶大理)	10/5 (金)	
16:00	R25a 楕円銀河の金属量勾配の起源 ○小林千晶 (東大理天文)、中里直人 (ARI)、野本憲一 (東大理天文)	09:24	R38b 楕円銀河の分光学的年齢と金属量 ○山田善彦 (東大理)、Alexandre Vazdekis (IAC)、中村 理 (東大宇宙線研)、有本信雄 (国立天文台)、Harald Kutschner、Roger Davies (ダラム大学)
16:12	R26a Dissection of galactic star-forming regions in distant clusters: I. Spectral types ○塩谷泰広 (東北大理)、戸次賢治、W. J. Couch (University of New South Wales)		R39b 矮小不規則銀河の積分 SED からの星形成史の抽出 ○吉川耕司 (京大理)、竹内 努 (国立天文台)、富田晃彦 (和歌山大教育)、平下博之 (アリチエトリ天文台)
16:24	R27a 非一様星間物質中での輻射抵抗による質量降着と幾何学的効果の影響 ○川勝 望 (筑波大物理)、梅村雅之 (筑波大計算物理)		R40b PSCz 銀河から得るダスト温度と諸物理量の関係 ○田尻 愉香 (京大理)

10/5 (金)		10/5 (金)	
09:36	<p>R41b すばる望遠鏡による M81 および M82 近傍の球状星団探査 ○齊藤嘉彦、家 正則、柏川伸成、吉田道利、大山陽一、青木賢太郎、小杉城治、佐々木敏由紀、関口和寛、高田唯史、川端弘治、山田 亨、八木雅文、宮崎 聡 (国立天文台)、田口弘子 (早稲田実業)、他 FOCAS 開発チーム</p> <p>R42b すばる望遠鏡による高赤方偏移銀河団中心部の近赤外線深撮像観測 ○山田 亨 (国立天文台)、小山陽平 (東北大理)、鍛冶澤賢 (国立天文台)、岡村定矩、仲田史明 (東大理)、R. De Propriis (U.South Wales)</p> <p>R43b 赤方偏移 3 を越える Lyman Break 銀河の内部構造について ○山田 亨 (国立天文台)、澤田真知子 (東北大理)、鍛冶澤賢、田中 壺 (国立天文台)、本原顕太郎 (ハワイ観測所)</p>	10:12	<p>R51a Ultra Deep K'-band Imaging of HDF-N with Subaru and CISCO ○鍛冶澤 賢、山田 亨、田中 壺 (国立天文台)</p>
		10:24	<p>R52a すばる望遠鏡による $z = 2.4$ 輝線天体領域の近赤外線深撮像観測：原始銀河団候補領域における銀河の色・光度分布について ○山田 亨、本原顕太郎、鍛冶澤 賢、田中 壺 (国立天文台)、岩室史英、舞原俊憲 (京大理)、児玉忠恭 (東大理)、他、すばるチーム</p>
		10:36	<p>R53a $z=4$ における銀河の統計的性質 ○大内正己、嶋作一大、古澤久徳、仲田史明、宮崎真行、木村仁彦、関口真木、土居 守、岡村定矩 (東大)、小宮山 裕 (ハワイ観測所)、宮崎 聡、八木雅文、安田直樹 (国立天文台)、浜部 勝 (日本女子大理)</p>
09:48	<p>R44b $z=5$ における銀河の光度関数と星形成史 ○大内正己、嶋作一大、古澤久徳、仲田史明、宮崎真行、木村仁彦、関口真木、土居 守、岡村定矩 (東大)、小宮山 裕 (ハワイ観測所)、宮崎 聡、八木雅文、安田直樹 (国立天文台)、浜部 勝 (日本女子大理)</p> <p>R45b Dark Halo の merging process による DLA の起源と進化 ○大越克也、長島雅裕、郷田直輝 (国立天文台)、吉岡 諭 (東京商船大)</p> <p>R46b 光から赤外へ架ける橋：近傍赤外線銀河の性質の起源、遠方銀河赤外線カウント、そして宇宙背景放射 戸谷友則 (Princeton University/国立天文台)、○竹内 努 (国立天文台/東大天文センター)</p>	10:48	<p>R54a すばる望遠鏡の Suprime-Cam による ISO 遠赤外線銀河の高分解能撮像観測 ○大藪進喜、川良公明、佐藤康則、続唯美彦 (東大天文センター)、谷口義明、村山 卓 (東北大)、D. B. Sanders (ハワイ大)、M. S. Yun (マサチューセッツ大学)、松原英雄 (宇宙研)、若松謙一 (岐阜大)、奥田治之 (ぐんま天文台)</p>
		11:00	<p>R55a すばるディープフィールドにおける銀河計数の階層的銀河形成モデルによる解析 ○長島雅裕 (国立天文台)、吉井 譲 (東大理)、戸谷友則、郷田直輝 (国立天文台)</p>
		11:12	<p>R56a 紫外線光度から星生成率を正しく求める方法 ○高木俊暢 (宇宙研)、有本信雄 (国立天文台)、花見仁史 (岩手大文)</p>
10:00	<p>R50a ERO R1 behind CL0939+4713 一赤方偏移 1.5 の時代の巨大 S0 銀河一 ○家 正則、今西昌俊、小林尚人、寺田宏、後藤美和、柏川伸成、宮崎 聡、C. Simps on (国立天文台)、嶋作一大、児玉忠恭 (東大)</p>	11:24	<p>R57a OHS による $2.0 < z < 2.6$ Radio Galaxy の近赤外線分光 ○岩室史英 (京大理)、本原顕太郎 (国立天文台ハワイ)、舞原俊憲 (京大理)、すばる望遠鏡チーム</p>

<p>10/5 (金)</p> <p>11:36 R58a ASTRO-F 搭載遠赤外線観測装置 FIS による分光サーベイ観測の可能性 ○川田光伸、芝井 広 (名大)、竹内努 (天文台)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p> <p>11:48 R59a 低赤方偏移クエーサーの FeII/MgII 強度比 ○続唯美彦、川良公明、大藪進喜、吉井 譲、田辺俊彦 (東大理)</p> <p>12:00 R60a 赤方偏移率-後退速度関係の再検討 (その5 赤方偏移率の原因別分解) ○阿武靖彦 (-)</p>	<p>ポスターのみ</p> <p>R48c すばる望遠鏡多色撮像サーベイ観測に基づくフィールド銀河の光度進化の研究 ○古澤久徳、嶋作一大、土居守、岡村定矩 (東大理)、小宮山裕 (ハワイ観測所)、仲田史明、大内正己、宮崎真行、木村仁彦 (東大理)、宮崎聡、八木雅文、安田直樹 (国立天文台)、Suprime-Cam Team、CISCO Team</p> <p>R49c ISO 遠赤外線源候補天体の可視分光観測 II ○村山 卓、嘉数悠子、谷口義明 (東北大)、D. B. Sanders (ハワイ大)、S. Veilleux (メリーランド大)、大藪進喜、川良公明、佐藤康則 (東京大)、松原英雄 (宇宙研)、奥田治之 (ぐんま天文台)</p>
<p>ポスターのみ</p> <p>R32c ダークマターハローの普遍的密度分布の形成と起源 ○穂積俊輔 (滋賀大教育)、Andreas Burkert (Max Planck Institute, Heidelberg)</p> <p>R33c 質量の異なる銀河どうしの衝突による各銀河の構造変化について ○船渡陽子 (東大総合文化)</p> <p>R34c satellite galaxy の軌道進化 ○橋本良和 (東京大理)</p> <p>R35c 放射性重元素を用いた銀河系年齢の推定 ○大槻かおり、梶野敏貴 (国立天文台)、G. Mathews (Notre Dame 大)</p> <p>R36c 星形成による現象論的フィードバックモデルと銀河構造 ○斎藤貴之、羽部朝男 (北大)、岡本崇 (京大基研)</p> <p>R37c 球状星団の進化に伴う color gradient の成長について ○島田正章 (名古屋短大)、高橋広治 (東大理)</p> <p>R47c 銀河団内の衝突銀河の形状について II ○田川英幸 (北九州市立こども文化会館)、金光 理 (福岡教育大)</p>	

S. 活動銀河核 (A 会場)

10/5 (金)		10/5 (金)	
14:00	S01a 回転ブラックホールによる磁気回転不安定の急成長 ○横沢正芳、岡崎 亘、上松佐知子、阿部純也 (茨城大学理)	15:48	S11a GPS 電波源 0902 + 490 の多周波観測 ○亀野誠二、武藤睦美 (国立天文台)、沈 志強、澤田 - 佐藤聡子、輪島清昭 (宇宙研)
14:12	S02a カーブラックホール・エネルギーの磁氣的引抜き機構の3次元画像解析 ○小出眞路 (富山大工)、David L. Meier (JPL)、柴田一成 (京大理)、工藤哲洋 (国立天文台)	16:00	S12b GPS 天体の双方向ジェットにおける FRM の非対称分布について ○武藤睦美 (東京理大理)、井上 允、亀野誠二、藤沢健太 (国立天文台)、浅田圭一 (総研大)
14:24	S04a 多次元相対論的流体コードを用いた AGN ジェットの伝搬に関する数値計算 ○水田 晃、山田章一、高部英明 (阪大レーザー研)		S13b 電波銀河 NGC1052 の水メーザーとプラズマ円盤の空間的一致 ○澤田 - 佐藤聡子 (宇宙研)、亀野誠二、柴田克典、井上 允 (国立天文台)
14:36	S05a 低光度降着流の大局的3次元散逸性MHD数値実験 ○桑原匠史 (JST)、町田真美 (千葉大 自然)、林 満 (JST/国立天文台)、松元亮治 (千葉大理)		S14b ブラックホール近傍からのガンマ線放射 ○岡 和孝 (神戸大 自然)、萬本忠宏 (千葉大理)、松田卓也 (神戸大理)
14:48	S06a 電波銀河のローブにおける磁場と粒子のエネルギーと中心核強度の関係 ○磯部直樹、牧島一夫 (東大理)、田代 信、鈴木雅也 (埼玉大理)、伊予本直子、金田英宏 (宇宙研)	10/6 (土)	
15:00	S07a VLBI 偏波観測を用いた活動銀河核ジェット内の3次元磁場構造の推定 ○浅田圭一 (総研大)、内田 豊、武藤睦美 (東理大理)、井上 允、亀野誠二、藤沢健太、井口 聖 (国立天文台)	09:24	S16a 磁場中の搬送主体型降着流からのウィンド発生に関する判定条件 ○鎗木 修 (東北大理)
15:12	S08a 電波銀河 3C123 のホットスポットからの逆コンプトンX線の観測 ○鈴木雅也 (埼玉大理)、磯部直樹 (東大理)、田代 信 (埼玉大理)	09:36	S17a 磁場中降着円盤からの粘性駆動型ウィンド ○丸田大蔵、鎗木 修 (東北大理)
15:24	S09a 電波銀河のホットスポットにおける物理状態の推定 ○紀 基樹 (阪大理/東北大理)、高原文郎 (阪大理)、楠瀬正昭 (関西学院大理)	09:48	S19a 磁場中降着流モデルに基づく SgrA* X線スペクトルの解釈 ○山崎尚宏、鎗木 修 (東北大理)、紀基樹 (東北大理/大阪大理)
15:36	S10a アンドロメダ星雲中心における超巨大ブラックホール群からのデカメータ・パルス電波源位置の確定 ○大家 寛 (福井工大)、飯島雅英 (東北大)	10:00	S20a セイファート銀河 NGC 5033 中心領域のミリ波放射成分 ○土居明広 (東大理)、亀野誠二、河野孝太郎 (国立天文台)
		10:12	S21a Chandra 衛星による狭輝線 Seyfert-1 銀河 Akn564 のX線精密分光観測 ○松本千穂、Karen M. Leighly (The University of Oklahoma)、Herman L. Marshall (MIT)

10/6 (土)		10/6 (土)	
10:24	S22a 野辺山ミリ波干渉計 / RAINBOW 干渉計による近傍 Seyfert 銀河サーベイ: “pure” AGN と “composit” AGN とを切り分ける新手法 ○河野孝太郎 (東大理天文センター)、芝塚要公、沖浦真保子、奥村幸子 (国立天文台野辺山)、川辺良平、石附澄夫 (国立天文台 ALMA 準備室)、松下聡樹、坂本 和 (CfA)	11:24	S27b 雲に覆われた降着円盤 ○北畠悦子、福江 純 (大阪教育大教育)
10:36	S23a 相対 VLBI 観測によるバイナリーブラックホールの探索 ○須藤広志、谷口義明 (東北大理)、井口 聖 (国立天文台)、村田泰宏 (宇宙研)		S28b Test toward Disk-BLR Model for Double-Peaked Emission Lines ○長尾 透、村山 卓、塩谷泰広、谷口義明 (東北大理)
10:48	S24a SDSS 初の重力レンズクエーサー「SDSS 1226 - 0006」の発見 ○稲田直久、関口真木 (東大宇宙線研)、Gordon Richards (The Pennsylvania State University)、Scott Anderson (University of Washington)、Scott Burles (FNAL)、Daniel Eisenstein、Dennis Zaritsky (University of Arizona)、Joshua Frieman、David Johnston、Ryan Scranton (The University of Chicago)、Edwin Turner、Bart Pindor (Princeton University) Hans-Walter Rix (MPA)、Paul Schechter (MIT)		S29b Beyond H_0 determination ○米原厚憲 (日本学術振興会特別研究員 / 筑波大計算物理)、嶺重 慎 (京大基研)、George Chartas (Penn State 大)、Edwin L. Turner (Princeton 大)
11:00	S25a 巨大電波銀河 B1358+305 における Sunyaev-Zel'dovich 効果の観測 ○山田雅子、藤田 裕、松尾 宏、杉山直 (国立天文台)	11:36	S30b 「あすか」による宇宙 X 線背景放射の大規模ゆらぎの研究 ○久志野彰寛、石崎欣尚、山崎典子、大橋隆哉 (都立大理)、上田佳宏 (宇宙研)
11:12	S26a CANGAROO-II 望遠鏡による Markarian421 観測結果 ○奥村公宏、榎本良治 (東大宇宙線研)、他 CANGAROO チーム (茨城大理、茨城医療大、宇宙科学研、大阪市大理、神奈川大工、京大理、甲南大理、国立天文台、信州大工、東海大理、東工大理、名大 STE 研、山形大理、山梨学院大、理研、アデレード大、オーストラリア国立大)		
			ポスターのみ
			S03c Black Hole への MHD Accretion : 時間発展シミュレーションと定常解の比較 ○水野陽介 (京大宇宙)、高橋真聡 (愛教大)、小出真路 (富山大)
			S15c 5-GHz VLBI imaging observations of 7 equatorial extragalactic radio sources ○Zhi-Qiang Shen (ISAS)、D. R. Jiang、T. S. Wan (Shanghai Observatory, China)
			S18c ブラックホール降着流における Photon-Trapping Effect ○大須賀 健、嶺重 慎 (京大基研)、梅村雅之 (筑波大計算物理)、森 正夫 (専修大法)

T. 銀河団 (E 会場)

10/4 (木)	10/4 (木)
10:00 T01b 銀河団内部構造と宇宙項 ○諏訪多聞、羽部朝男 (北大理)、吉川耕司 (京大理)、岡本 崇 (京大基研)	11:00 T10a 銀河団の中心領域と光度温度関係 ○太田直美 (都立大理)、満田和久 (宇宙研)
T02b Chandra 衛星で見つかった楕円銀河 NGC4636 の高温ガスの激しい乱れ ○大戸彰三、川埜直美、深沢泰司 (広大理)	11:12 T11a XMM 衛星により観測された M 87 の重元素分布 ○松下恭子、H. Böhringer, A. Finoguenov (MPE)、E. Belsole
T03b Chandra 衛星による銀河団中心における温度・密度分布の測定 ○川埜直美、大戸彰三、深沢泰司 (広大理)	11:24 T12a Chandra 衛星による A1060 銀河団中心の観測 ○山崎典子、大橋隆哉 (都立大)、古庄多恵 (NASA/GSFC)
10:12 T04b かみのけ座銀河団の最高温領域の、プラズマ温度分布と X 線ソース ○渡辺 学 (JST/宇宙研)、山下広順 (名大理)	11:36 T13a Chandra 衛星による硬 X 線超過銀河群 HCG62 の観測 ○深沢泰司、佐藤桂子 (広大理)、中沢知洋 (ISAS)、高橋 勲 (東大理)
T05b Deep Optical Imaging of HCG82 and HCG83 ○藤田 忍、安食 優、村山 卓、長尾透、谷口義明 (東北大理天文)、西浦慎悟 (東大天文センター木曾観測所)、佐藤康則 (東大天文センター)、D. B. Sanders (IfA, University of Hawaii)	11:48 T14a 「あすか」による RXJ0419.6+0225 の観測 ○川原田 円、高橋 勲 (東大理)、中澤知洋 (宇宙研)、深沢泰司 (広大理)、牧島一夫 (東大理)
T06b HCG81、86 の光学エンベロープの有無についての観測 ○安食 優、藤田 忍、村山 卓、長尾透、谷口義明 (東北大理)、西浦慎悟、佐藤康則 (東大天文センター)、D. B. Sanders (IfA, University of Hawaii)	14:00 T15a 「ASCA」で観測された銀河団 2A0335+096 における重元素の空間分布 ○田中 武、和田恵一、秋元文江、古澤彰浩、田原 譲、山下廣順 (名大理)
10:24 T07a 銀河団スケールにおけるダークマターハローの構造 ○福重俊幸 (東大総合文化)、牧野淳一郎 (東大理)	14:12 T16a ASCA による銀河面上に位置する銀河団 3C129-Cluster の観測 ○和田恵一、田中 武、秋元文江、古澤彰浩、田原 譲、山下廣順 (名大理)
10:36 T08a 衝突系としての銀河団の力学的進化 ○高橋広治、泉水朋寛 (東大理)、船渡陽子 (東大総文)、牧野淳一郎 (東大理)	14:24 T17a Seyfert's Sextet の tidal debris のマルチバンド測光 ○西浦慎悟 (東大天文センター木曾観測所)、塩谷泰広、村山 卓、長尾透、谷口義明 (東北大理天文)、佐藤康則 (東大天文センター)、D. B. Sanders (IfA, University of Hawaii)
10:48 T09a アーク統計による銀河団質量密度プロファイルへの制限 ○大栗真宗、樽家篤史、須藤 靖 (東大理)	14:36 T18a $z = 0.4$ 銀河団の大規模「蛸」構造と銀河特性の環境依存性 ○児玉忠恭 (東大理)、Ian Smail (Univ of Durham)、仲田史明、岡村定矩 (東大理)、Richard Bower、Mike Balogh (Univ of Durham)

<p>10/4 (木)</p> <p>14:48 T19a $z \sim 1.1$ のクェーサークラスターに付随する遠方超銀河団の近赤外線撮像観測 ○田中 昶、山田 亨 (国立天文台)、須藤 靖 (東京大)、Edwin L. Turner (Princeton Univ.)</p> <p>15:00 T20a 遠方銀河団 MS1054-03 領域の質量分布 ○梅津敬一 (中央研究院天文所)、二間瀬敏史 (東北大理)、山田 亨、鍛冶沢 賢、浜名 崇 (国立天文台)、Yanick Mellier (IAP)</p> <p>15:12 T21a 未同定 EGRET ソースは衝突銀河団か? ○川崎 渉 (東大理)、戸谷友則 (Princeton Univ./国立天文台)</p> <p>15:24 T22a 多重散乱を考慮した相対論的スニャエフ・ゼルドビッチ効果の厳密計算 ○川名洋平、伊藤直紀 (上智大理工)、野沢 智 (城西女子短大)、神山泰治 (富士総研)</p> <p>15:36 T23b Near-Infrared imaging for the counterparts of C IV absorption clustering at $z \sim 2.43$ ○三澤 透 (東大理)、大山陽一、柏川伸成、家 正則 (国立天文台)</p> <p>T24b すばる望遠鏡による、$z \sim 1.1$ のクェーサークラスターに付随する遠方超銀河団の広視野撮像観測 ○田中 昶、山田 亨 (国立天文台)、須藤 靖 (東大理)、Edwin L. Turner (Princeton Univ.)、鍛冶沢 賢 (東北大)、Alfonso Aragon-Salamanca (Univ. of Nottingham)、有本信雄 (国立天文台)、二間瀬敏史 (東北大)、児玉忠恭 (東大)、宮地崇光 (Carnegie Mellon Univ.)、梅津敬一 (IAA, Taiwan)</p> <p>T25b Composite Luminosity Function of the SDSS Cut & Enhanced galaxy cluster catalog ○Tomotsugu Goto, Bob Nichol (CMU)、Maki Sekiguchi (Univ Tokyo)</p>	<p>ポスターのみ</p> <p>T26c $z \sim 1.3$ の超銀河団 Lynx 領域の大規模構造 ○仲田史明、児玉忠恭、嶋作一大 (東大理)、Suprime-Cam group</p>
---	--

U. 宇宙論 (C 会場)

<p>10/6 (土)</p> <p>09:24 U01a それでも無限宇宙論は正しい ○奥那嶺正秀 (-)</p> <p>09:36 U03a 可変宇宙項の原子・分子形成への影響 ○迫田数貴、橋本正章 (九大理)、荒井賢三 (熊大理)</p> <p>09:48 U04a ダークマターの特異速度統計とハローの密度プロファイルII ○桑原 健、樽家篤史、須藤 靖 (東大理)</p> <p>10:00 U05a Nonlinearity and stochasticity in halo biasing from Hubble Volume Simulations ○日影千秋、樽家篤史、須藤 靖 (東大理)、吉田直紀 (Max-Planck)</p> <p>10:12 U06a ダークハロー数密度ゆらぎの確率分布関数 ○加用一者、樽家篤史、須藤 靖 (東大理)</p> <p>10:24 U07a 重力レンズ統計とダークハローの密度分布 ○高橋龍一、千葉 剛 (京大理)</p> <p>10:36 U08a Cosmic shear and lognormal property of dark matter distribution ○樽家篤史、加用一者 (東大理)、高田昌広、浜名 崇 (国立天文台)、二間瀬敏史 (東北大理)</p> <p>10:48 U09a Probing Dark Matter Substructure in Lens Galaxies ○千葉証司 (国立天文台)</p> <p>11:00 U10a 宇宙背景放射の偏光に対する銀河団中磁場による Faraday Rotation 効果 ○高田昌広 (国立天文台)、大野博司 (東大理)、杉山 直 (国立天文台)</p> <p>11:12 U12b スカラー場宇宙項の初期宇宙への影響と観測的制限 ○市来浄興 (東大理)、梶野敏貴 (国立天文台)、八尋正信 (琉球大理)、Grant J. Mathews (Notre Dame 大)、折戸 学 (国立天文台)</p>	<p>10/6 (土)</p> <p>U13b 銀河団 MS1358 + 62 の SZ 効果のミリ波観測 坪井昌人、○園田陽子 (茨城大理)、春日 隆 (法政大工)、松尾 宏 (国立天文台)、坂本彰弘、久野成夫、宮崎敦史 (NRO)</p> <p>U14b 宇宙背景放射小角度異方性観測用干渉計計画の開始 ○坪井昌人 (茨城大理)、春日 隆 (法政大工)、松尾 宏 (国立天文台)</p> <p>11:24 U15a Narrow Band Imaging Survey with Kiso Schmidt telescope (I): HDF-N ○松田有一、林野友紀、吉田俊光、田村 一 (東北大理)、高遠徳尚、山田亨 (国立天文台)、太田耕司 (京大理)、青木 勉 (東大理/木曾観測所)</p> <p>11:36 U16a Narrow-band Imaging Survey with Kiso Schmidt Telescope(II)HST medium Deep Survey region (13h12m +43°) ○田村 一、林野友紀、吉田俊光、松田有一 (東北大理)、高遠徳尚、山田亨 (国立天文台)、太田耕司 (京大理)、青木 勉 (東大木曾観測所)</p> <p>11:48 U17a Test Analysis of Narrowband Imaging Survey at the Subaru Prime Focus ○林野友紀、谷口義明、吉田俊光、松田有一、田村 一 (東北大理)、Suprime-Cam group</p> <p>.....</p> <p>ポスターのみ</p> <p>U02c 超光速の光! によるタイムマシンは可能か? ○松田卓也 (神戸大理)</p> <p>U11c 停留期を伴う振動スカラー宇宙モデルにおける宇宙論パラメータの制限 ○松下英子、川端 潔 (東京理科大学)</p>
---	---

V. 地上観測機器 (E 会場)

10/4 (木)		10/4 (木)				
15:48	V01a	偏光干渉を利用した干渉型ステラコロナ グラフの開発 ○村上尚史、馬場直志、石垣 剛、斎 藤 荘芳 (北大工)	16:48	V08b	30m 基線光赤外干渉計 MIRA-I.2 の建設 (4) ○吉澤正則、佐藤弘一、西川 淳、福 島登志夫、鳥居泰男、鈴木駿策、大石 奈緒子、松田 浩、久保浩一、岩下 光 (国立天文台)、小谷隆行 (東大理)	
16:00	V02a	天体観測用 VPH 回折格子の製作 ○井上大輔、石垣 剛 (北大工)、佐藤 龍司 (北海道能開大)		V09b	岡山観測所 91cm 望遠鏡とニコン分光器 による試験観測 ○大久保美智子 (大阪教育大)、乗本 祐慈 (国立天文台岡山)、松岡友和、 木村佳代、清水智美、久方陽子、定金 晃三 (大阪教育大)	
16:12	V03a	鹿児島大学光・赤外線望遠鏡計画につ いて ○廣田朋也、面高俊宏、西尾正則、 河南 勝、前田利久、森崎悟、長谷川 渉、江副和彦 (鹿児島大理)、田中培 生 (東大理)、藤井高宏、唐牛 宏、 笹尾哲夫、小林秀行 (国立天文台)、 清水 実 (ぐんま天文台)、奥平敦也 (鹿児島国際大)		V10b	OAO/WFC による K-band 銀河面モニタ 計画 ○柳澤顕史 (国立天文台岡山)、中田 好一 (東大センター)、泉浦秀行、吉 田道利、渡邊悦二、清水康廣、乗本祐 慈、岡田隆史、小矢野久 (国立天文台 岡山)	
16:24	V04a	京都三次元分光器第 2 号機 IX. 赤外シ ミュレータにおける最終試験 ○菅井 肇、尾崎忍夫、服部 堯、河合 篤史 (京大理)、他京都三次元分光 器チーム、武山 芸英 ((株) ジェネシ ア)				
16:36	V05b	京都三次元分光器第 2 号機 X. 姿勢差の 抑制 ○服部 堯、大谷 浩、菅井 肇、尾崎 忍夫、河合篤史 (京大理)、他京都三 次元分光器チーム、湯谷正美、山口達 二郎 (国立天文台)		10/5 (金)		
	V06b	ぐんま天文台近赤外線カメラのファース トライト ○西原英治、橋本 修、奥田治之 (ぐ んま天文台) 西村徹郎 (国立天文台)		09:24	V13a	TAMA300 の現状 (9) ○高橋竜太郎 (国立天文台)、他 TAMA グループ (京大基研、高工研、 国立天文台、電通大、東大宇宙線研、 東大新領域、東大地震研、東大理、 阪大理、宮城教育大)
	V07b	Muller Matrix における平面アルミ反射鏡 の固有パラメータの観測的決定とそれ による Stokes Parameter の精度向上度 ○上野 悟、北井礼三郎、黒河宏企 (京大理附属天文台)、牧田 貢 (大阪 学院短期大)		09:36	V14a	2 台の重力波検出器を用いた同時観測実 験について ○辰巳大輔 (国立天文台)、他 TAMA collaboration
				09:48	V15a	TAMA300 による連星合体重力波イベン ト探査 ○田越秀行 (阪大理)、他 TAMA グ ループ (京大基研、高工研、国立天文 台、電通大、東大宇宙線研、東大新領 域、東大地震研、東大理、阪大理、宮 城教育大)
				10:00	V17a	岡山近赤外観測共同利用装置「Hyper- OASIS」の開発 ○森 淳、柳澤顕史、渡辺悦二、清水 康広、田実晃人 (国立天文台岡山)

V. 地上観測機器

10/5 (金)	<p>10:12 V18a MAGNUMプロジェクト ○小林行泰 (国立天文台)、吉井 譲、峰崎岳夫、塩谷圭吾、青木 勉、土居守 (東大理天文センター)、菅沼正洋、富田浩行 (東大理/国立天文台)、B, Peterson (豪国立大学)</p> <p>10:24 V19a すばる望遠鏡光学系反射性能の経年変化と主鏡再蒸着 ○林 左絵子、倉上富夫、湯谷正美、大島紀夫、神澤富雄、すばる望遠鏡 (国立天文台)</p> <p>10:36 V23a すばる中間赤外撮像分光装置 COMICS の現状報告と共同利用公開の展望 ○岡本美子 (国立天文台)、片ざ宏一 (宇宙研)、宮田隆志、酒向重行、田窪信也、本田充彦 (東大理)、山下卓也 (国立天文台)、尾中 敬 (東大理)</p> <p>10:48 V24b 中間赤外観測装置 COMICS の中分散分光観測における大気の影響 ○酒向重行、宮田隆志、田窪信也、本田充彦、尾中敬 (東大理天文)、片ざ宏一 (宇宙研)、岡本美子、山下卓也 (国立天文台)</p> <p>V25b すばる望遠鏡用観測装置 CIAO の偏光観測機能 ○深川美里 (東大理)、田村元秀、周藤浩士、村川幸史、土井由行、林 左絵子、高見英樹 (国立天文台)、伊藤洋一 (神戸大)、大朝由美子 (宇宙開発事業団)、直井隆浩 (東大理)</p> <p>V26b すばる望遠鏡の Pointing, Tracking 高精度化(カセグレン、主焦点) ○森野潤一、M. Letawsky、小杉城治、白田知史、家 正則 (国立天文台)、田中 済 (三菱電機)、中嶋浩一 (一橋大)、他すばる & 三菱電機 (MEUS) グループ</p> <p>11:00 V27a 兵庫県立西はりま天文台 2 m 望遠鏡計画の概要 ○黒田武彦、圓谷文明、石田俊人、時政典孝、鳴沢真也、坂元 誠、尾崎忍夫 (兵庫県立西はりま天文台)</p>	10/5 (金)	<p>11:12 V28b 兵庫県立西はりま天文台 2 m 望遠鏡計画 I 望遠鏡本体と統合制御システム ○圓谷文明、坂元 誠、石田俊人、時政典孝、鳴沢真也、尾崎忍夫、黒田武彦 (西はりま天文台)</p> <p>V29b 兵庫県立西はりま天文台 2m 望遠鏡計画 II 可視光分光器と超高感度高画質カラーカメラ ○尾崎忍夫、時政典孝、圓谷文明、石田俊人、鳴沢真也、坂元 誠、黒田武彦 (西はりま天文台)</p> <p>V30b 兵庫県立西はりま天文台 2m 望遠鏡計画 III 3 波長同時観測近赤外線カメラ ○上野宗孝、イシツカホセ (東大院総合文化)、上水和典、圓谷文明、黒田武彦 (西はりま天文台)</p> <p>11:24 V31b 兵庫県立西はりま天文台 2m 望遠鏡計画 IV 新装置による “@ site” プログラム ○坂元 誠、圓谷文明、石田俊人、時政典孝、鳴沢真也、尾崎忍夫、黒田武彦 (西はりま天文台)</p> <p>V32b 北海道大学 11 m 電波望遠鏡計画 I. 移設と現状 ○徂休和夫 (国立天文台)、羽部朝男、藤本正行、兼古 昇 (北大理)、中井直正 (国立天文台)</p> <p>V33b マルチビーム受信機観測システム BEARS (25-BEam Array Receiver System)5 - フロントエンドの改良 - ○宮澤 (山口) 千栄子、砂田和良、飯塚吉三、岩下浩幸、野口 卓 (国立天文台野辺山)</p> <p>11:36 V34b NMA 用 90-150GHz 帯広帯域 SIS 受信機 ○岩下浩幸、高橋敏一、野口 卓 (国立天文台)</p> <p>V35b 20 GHz 帯ポータブル低雑音受信機システムの開発 ○米沢郁人、坪井昌人 (茨城大理)、春日 隆 (法政大工)、中島潤一 (通信総研)</p>
----------	--	----------	--

<p>10/5 (金)</p> <p>V36b ギガビット VLBI の J-net ネットワーク観測 ○中島潤一、関戸 衛、小山泰弘、大崎裕生、大久保寛、川合栄治、近藤哲朗 (通信総研鹿島)、木村守孝 (東大)、本間希樹、三好 真、宮地竹史 (国立天文台)、岩館健三郎、亀谷 收 (国立天文台水沢)</p>	<p>10/5 (金)</p> <p>V44b ASTE10m サブミリ波望遠鏡搭載用 ALMA プロトタイプ受信機の開発 (III) ○横川創造 (総研大)、関本裕太郎 (国立天文台)、野口 卓 (国立天文台野辺山)、小川英夫 (大阪府立大)、安藤浩哉 (豊田高専)、他 ASTE/ALMA グループ</p>
<p>14:00 V38a ALMA 望遠鏡ソフトウェア概要 ○森田耕一郎、立松健一、江澤 元、中西康一郎、鎌崎 剛、早川貴敬 (国立天文台)</p>	<p>15:00 V45b ALMA 計画 Band 8 光学系の電磁界理論解析 ○松永真由美 (愛媛大工)</p> <p>V46b ALMA サイト調査：フーリエ分光器によるチリ北部でのミリ波サブミリ波大気透過スペクトルの測定 (IV) ○松尾 宏 (国立天文台開発実験センター)、松下聡樹 (Harvard-Smithsonian CfA)</p>
<p>14:12 V39a 大気サブミリ波連続波を使った新しい位相補償法 ○松下聡樹 (Harvard-Smithsonian CfA)、松尾 宏 (国立天文台開発実験センター)</p>	<p>V47b ALMA 用ミリ波帯 SIS ミキサ評価システムの開発 ○米倉覚則、浅山信一郎、木村公洋、小川英夫 (大阪府大総合科学)、安藤浩哉 (豊田高専)、水野範和、水野亮、福井康雄 (名大理)、関本裕太郎 (国立天文台)</p>
<p>14:24 V40a 100GHz フォトミキサの性能評価 ○上田暁俊、岩下浩幸、野口 卓、関本裕太郎、石黒正人 (国立天文台)、伊藤 弘、永妻忠夫 (NTT フォトニクス)</p>	<p>15:12 V48b ALMA Band 3 光学系の開発 ○木村公洋、浅山信一郎、米倉覚則、小川英夫 (大阪府大総合科学)、安藤浩哉 (豊田高専)、水野範和、水野亮、福井康雄 (名大理)、関本裕太郎 (国立天文台)</p>
<p>14:36 V41a ALMA バンド3 受信機の開発 ○小川英夫、木村公洋、浅山信一郎、米倉覚則 (大阪府大総合科学)、水野範和、水野 亮、鈴木和司、河合利秀、福井康雄 (名大理)、安藤浩哉 (豊田高専)、野口 卓、関本裕太郎 (国立天文台)</p>	<p>V49b 4 - 8 GHz 帯冷却低雑音増幅器の開発 ○原 淳、阿部安宏 (日本通信機)</p>
<p>14:48 V42b ALMA バンド3, 4 用クロスガイドケーブルの開発 ○鈴木和司、水野範和、水野 亮、福井康雄 (名大理)、木村公洋、浅山信一郎、米倉覚則、小川英夫 (大阪府大総合科学)</p>	<p>V50b 野辺山ミリ波干渉計素子アンテナにおける日射の影響 ○中西康一郎、佐藤直久、野辺山ミリ波干渉計グループ (国立天文台野辺山)</p>
<p>V43b ALMA バンド3 用 SIS ミキサの開発 ○浅山信一郎、木村公洋、米倉覚則、小川英夫 (大阪府大総合科学)、安藤浩哉 (豊田高専)、水野範和、水野亮、福井康雄 (名大理)、武田正典 (通総研)、砂田和良、関本裕太郎、野口 卓 (国立天文台)</p>	<p>15:24 V51a 大型ミリ波サブミリ波干渉計のための高分散相関器システムの開発 III. 2GHz 広帯域相関処理実験 ○奥村幸子、井口聖 (国立天文台野辺山)、百瀬宗武 (茨城大学)、近田義広 (国立天文台)、川口則幸 (国立天文台水沢)</p>

10/5 (金)	10/6 (土)
<p>15:36 V52a Rainbow 干渉計 新受信機と共同利用について ○芝塚要公 (東大理)、岩下浩幸、高橋敏一、河野孝太郎、中西康一郎、奥村幸子、砂田和良、浮田信治、川辺良平 (国立天文台野辺山)、他 野辺山 Rainbow group</p>	<p>09:24 V58a 韓日間ミリ波 VLBI 初観測—観測システム— ○Roh, D. G.、Kim, K. D.、Chung, H. S.、Han, S. T.、Kim, H. G.、Minh, Y.、Cho, S. H. (大徳電波天文台)、梅本智文、亀野誠二、砂田和良、武士保健、柴田克典、宮地竹史、御子柴廣、久野成夫、小林秀行、井上 允 (国立天文台)</p>
<p>15:48 V53a 鹿島—鹿児島線による高次モードギガビット VLBI 観測について ○鈴山智也、西尾正則、面高俊宏、宮崎智行 (鹿児島大)、中島潤一、関戸 衛、小山泰弘、大崎裕生、大久保寛、川合栄治、近藤哲朗 (通信総研鹿島)、木村守孝 (東大)、宮地竹史 (国立天文台)</p>	<p>09:36 V59a 韓日間ミリ波 VLBI 初観測—相関処理— ○柴田克典、亀野誠二、梅本智文、武士保健、小林秀行、砂田和良、宮地竹史、御子柴廣、久野成夫、井上 允 (国立天文台)、Chung, H. S.、Roh, D. G.、Kim, K. D.、Han, S. T.、Kim, H. G.、Minh, Y.、Cho, S. H. (大徳電波天文台)</p>
<p>16:00 V54a GALAXY ネットワークによる 1Gbps の実時間 VLBI 実験 ○藤沢健太 (国立天文台)、中島潤一 (通信総研)、川口則幸、小林秀行、木村守孝 (国立天文台)、近藤哲朗、小山泰弘、関戸 衛、木内 等 (通信総研)、平林 久、村田泰宏 (宇宙研)、魚瀬尚郎、岩村相哲 (NTT 情報流通プラットフォーム研究所)、星野隆資、山崎しのぶ (NTT アドバンステクノロジー株式会社)</p>	<p>09:48 V60a LEO 衛星ビーコンを利用した大気シーイングモニタの開発 ○西尾正則、鈴山智也 (鹿児島大理)、角野由夫 (信州大理)</p>
<p>16:12 V55b 汎用計算機を用いた VLBI 関連器の開発 ○木村守孝 (東大理)、近藤哲郎、中島潤一、関戸 衛 (通総研)</p>	<p>10:00 V61a 電波干渉計 A/D 変換器における高次オーバーサンプリング技術 ○井口 聖 (国立天文台野辺山)、川口則幸 (国立天文台水沢)</p>
<p>V56b ASTE 搭載サブミリ波カメラの開発 III ○有吉誠一郎 (総研大)、松尾 宏 (国立天文台)、武田正典 (通総研)、野口 卓 (国立天文台野辺山)、湯浅勝人 (東工大)、佐藤広海、大谷知行、清水裕彦 (理化学研)</p>	<p>10:12 V62a スーパーサイネット回線を利用した光結合型 VLBI 観測計画 ○川口則幸、藤沢健太、近田義広 (国立天文台)</p>
<p>V57b ASTE 搭載 3色ポロメータ開発 ○湯浅勝人 (東工大)、松尾 宏、岡田則夫 (国立天文台)、有吉誠一郎 (総研大)、坂本彰弘、江澤 元、久野成夫 (国立天文台野辺山)</p>	<p>10:24 V64a VERA 計画 3 観測局の完成 ○笹尾哲夫 (国立天文台)、VERA 推進グループ</p>
	<p>10:36 V65b VERA 観測システムにおける新技術 ○川口則幸 (国立天文台)、他 VERA 計画開発推進チーム</p>
	<p>V66b 電波天文観測装置 A/D 変換器による量子化損失の観測的検証 ○蒲原龍一 (鹿児島大理)、井口 聖、小林秀行 (国立天文台)、VERA グループ</p>

<p>10/6 (土)</p> <p>V67b 早稲田 64 素子電波干渉計・受信機系のダイナミックレンジの改善 ○松村寛夫 (早大理工)、大師堂経明、竹内 央、国吉雅也、後藤健太郎、福岡浩二、梅村朋弘、岳藤一宏、遊馬邦之</p> <p>10:48 V68a 早稲田那須バルサー観測所現状報告 ○国吉雅也、大師堂経明、遊馬邦之、竹内 央、後藤健太郎、鈴木智也、水木さおり、水野桂寿、福岡浩二、梅村朋弘、松村寛夫、鶴沢憲一、岳藤一宏、信田耕作 (早稲田大学)</p> <p>11:00 V70a 空間時間 FFT プロセッサと球面鏡アレイの拡張性およびコスト ○大師堂経明、遊馬邦之、竹内 央、国吉雅也、後藤健太郎、鈴木智也、水木さおり、水野桂寿、福岡浩二、梅村朋弘、鶴沢憲一、松村寛夫 (早稲田大)</p> <p>11:12 V71a FPGA を用いた 64 素子干渉計各種観測モードの開発と観測の現状 ○竹内 央、大師堂経明 (早大教育)、国吉雅也、福岡浩二、梅村朋弘、松村寛夫、鶴沢 憲、岳藤一宏、信田耕作 (早大理工)、田中尚樹 (三菱電気)</p>	<p>ポスターのみ</p> <p>V21c すばるドーム内外の気象と温度関連制御 ○宮下暁彦 (国立天文台ハワイ)、高遠尚徳 (国立天文台)、望遠鏡グループ (国立天文台ハワイ)</p> <p>V22c 小型真空蒸着装置の立ち上げ—パソコン制御による蒸着工程管理 倉上富夫、神澤富雄、湯谷正美、佐々木五郎、○林 左絵子 (国立天文台)</p> <p>V37c SIS と HEMT アンプの直接結合 (3) ○松井孝博、坪井昌人 (茨城大理)、春日 隆 (法政大工)、大野剛志、阿部安宏 (日本通信機)</p> <p>V63c 山口 32 m アンテナ電波望遠鏡化計画 ○藤沢健太、川口則幸 (国立天文台)</p> <p>V69c 那須バルサーサーベイ電波望遠鏡のバルサー観測装置開発 ○遊馬邦之 (埼玉久喜高)、大師堂経明、竹内 央、国吉雅也、福岡浩二、梅村朋弘 (早稲田大)</p> <p>V72c FFT における新アルゴリズム radix - n の開発 ○梅村朋弘 (早大理工)、大師堂経明、竹内 央、国吉雅也、後藤健太郎、福岡浩二、松村寛夫、岳藤一宏、遊馬邦之</p>
<p>ポスターのみ</p> <p>V11c RIMOTS の現状 ○茶谷道夫、山内 誠 (宮崎大工)、浦田裕次、小浜光洋、鳥居研一 (理化学研)、河合誠之 (東京工業大理工)</p> <p>V12c 保護膜付銀鏡の耐久試験 ○岩下 光、鳥居泰男、久保浩一、松田 浩 (国立天文台)</p> <p>V16c 干渉計の信号情景解析 ○端山和大 (TAMA グループ、東大理)</p> <p>V20c すばるドームにパーティクルカウンタの設置とデータ取得 ○三上良孝 (国立天文台)、宮下暁彦、林 左絵子 (国立天文台ハワイ)、野口猛 (元国立天文台)</p>	

W. 飛翔体観測機器 (D 会場)

10/4 (木)		10/4 (木)	
10:00	<p>W01a 次世代赤外線天文衛星 SPICA の概念設計 ○中川貴雄 (宇宙研)、SPICA ワーキンググループ</p>	11:48	<p>W10b ASTRO-F 搭載 Ge:Ga 遠赤外線検出器の放射線環境における応答特性(II) ○赤崎みどり、金田英宏、松浦周二、中川貴雄 (宇宙研)、芝井 広、川田光伸 (名大)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p>
10:12	<p>W02a 次期赤外線天文衛星 SPICA の熱設計解析 ○杉田寛之、遠山伸一 (NASDA)、松本敏雄、村上 浩、中川貴雄 (ISAS)、平林誠之 (SHI)、SPICA ワーキンググループ</p>		<p>W11b ASTRO-F 搭載用遠赤外フーリエ分光器の性能評価 ○村上紀子、芝井 広、川田光伸 (名大理)、高橋英則 (JST/名大理)、他、ASTRO-F/FIS チーム</p>
10:24	<p>W03a SPICA ミッション用 1K 級冷凍機の開発 ○村上 浩 (宇宙研)、古川正夫、遠山伸一、杉田寛之 (NASDA)、榑崎勝弘 (住友重機械)、村上正秀 (筑波大工)、SPICA ワーキンググループ</p>		<p>W12b ASTRO-F/FIS 用極低温読み出し回路の性能評価 ○平尾孝憲、川田光伸、芝井 広、永田洋久、日比康詞、渡部豊喜 (名大理)、野田 学 (名古屋市科学館)、中川貴雄 (宇宙研)、他 ASTRO-F チーム</p>
10:36	<p>W04a 赤外線天文衛星 ASTRO-F(IRIS)の現状 村上 浩、○松原英雄 (宇宙研)、ASTRO-F チーム</p>		
10:48	<p>W05a ASTRO-F 搭載 SiC 望遠鏡の開発(III) ○金田英宏 (宇宙研)、尾中 敬 (東大理)、村上 浩 (宇宙研)、山城亮治 (NIKON)、他 ASTRO-F チーム</p>		
11:00	<p>W06a ASTRO-F・IRC の現状 ○上野宗孝 (東大院総合文化広域科学)、ASTRO-F IRC チーム</p>	14:00	<p>W13a ASTRO-F 焦点面観測装置電気系の開発 ○和田武彦、村上 浩、片坐宏一、松浦周二 (宇宙研)、芝井 広、川田光伸、渡部豊喜 (名大理)、上野宗孝 (東大総合文化)、他 ASTRO-F チーム</p>
11:12	<p>W07a ASTRO-F/IRC 中間赤外カメラフライトモデルの性能 ○度會英教、松原英雄、和田武彦、上水和典 (宇宙研)、金 宇征、石原大助 (東大天文)、他 ASTRO-F/IRC チーム</p>	14:12	<p>W14a 極低温動作 GaAs J-FET の低周波ノイズ削減手法 ○秋葉 誠、藤原幹生、佐々木雅英 (通信総研)</p>
11:24	<p>W08a ASTRO-F 搭載 FIS・Ge:Ga 検出器フライトモデルの性能評価その1:基本動作確認 ○松浦周二、M. A. Patrashin、磯崎洋祐、金田英宏、中川貴雄 (宇宙研)、藤原幹生 (通信総研)、川田光伸、芝井 広、平尾孝憲、渡部豊喜 (名大)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p>	14:24	<p>W15b ASTRO-F 搭載単結晶 Ge 基板グリズムの性能評価 ○藤代尚文、尾中 敬 (東大理)、松原英雄 (宇宙研)、井上篤郎 (東芝生産技術センター)、他 ASTRO-F/IRC チーム</p>
11:36	<p>W09a ASTRO-F 搭載 FIS・Ge:Ga 検出器フライトモデルの性能評価その2: ○磯崎洋祐 (東大理)、松浦周二、M. A. Patrashin、金田英宏、中川貴雄 (宇宙研)、藤原幹夫 (通信総研)、芝井 広、川田光伸、平尾孝憲、渡部豊喜 (名大)、他 ASTRO-F/FIS チーム</p>		<p>W16b 電波望遠鏡用フィルムレンズアンテナの性能測定 ○氏原秀樹、近田義広 (国立天文台)、中平勝子 (早大)</p>
			<p>W17b 単色偏光 X 線ビームラインの開発 II ○中嶋雄介、堀川貴子、林田 清、常深 博、阿久津大介、橋本康明 (阪大理)、大谷正之 (CREST)</p>

10/4 (木)	10/4 (木)
<p>14 : 36 W18b プラスチックシンチレーターを用いた天体硬X線偏光検出器の開発 ○斎藤芳隆、久保田あや、山上隆正、高橋忠幸 (宇宙研)、郡司修一、櫻井敬久、門叶冬樹 (山形大)</p> <p>W19b 全天X線監視装置 (MAXI) のGSCフライトカウンタの性能評価 ○三原建弘、桜井郁也、中島基樹 (理研/宇宙放射線)、松岡 勝、白崎裕治、上野史郎 (宇宙開発事業団)、河合誠之 (東工大)、吉田篤正 (青山学院)</p> <p>W20b X線全天監視装置 (MAXI) のデータプロセッサ (DP) 三原建弘、根来 均、○小浜光洋、山岡和貴 (理研)、河合誠之、片岡 淳 (東工大理)、吉田篤正 (青学理)、松岡 勝 (NASDA)、田中剛彦、山口勝 (NEC)、田中 勲 (明星電気)</p>	<p>15 : 36 W25a TES型X線マイクロカロリメータの開発 I—改良型検出器の製作と性能評価— ○森田うめ代、大橋隆哉、山崎典子、石崎欣尚、広池哲平 (都立大理)、満田和久、藤本龍一、伊予本直子、大島 泰、二元和朗、竹井 洋 (宇宙研)、工藤寛之、佐藤裕崇、中村友亮、小林秀臣、荒川貴博、庄子習一、本間敬之、逢坂哲彌 (早大理工)、黒田能克、大西光延、後藤雅也 (三菱重工業)</p> <p>15 : 48 W26a TES型X線マイクロカロリメータの開発 II—動作温度100 mKの低ノイズカロリメータの開発— ○竹井 洋、満田和久、藤本龍一、伊豫本直子、大島 泰、二元和朗 (宇宙研)、森田うめ代、広池哲平、大橋隆哉、山崎典子、石崎欣尚 (都立大理)、庄子習一、工藤寛之 (早大理工)、田中啓一、師岡利光、中山 哲、茅根一夫 (セイコーインスツルメンツ)</p>
<p>14 : 48 W21a 次期スペースVOBI計画の検討の現状 ○村田泰宏、平林 久、P. G. Edwards、朝木義晴、輪島清昭、澤田-佐藤聡子 (宇宙研)、井上 允、小林秀行、川口則幸、亀野誠二、梅本智文、藤沢健太 (国立天文台)ほか次期スペースVLBI WG</p>	<p>16 : 00 W27a 硬X線気球観測実験 InFOC μS—望遠鏡の性能評価と観測結果— ○岡島 崇、田村啓輔、小賀坂康志、芳賀一壽、高橋誠司、市丸 智、鬼頭秀郎、後藤有史、福田真一、野本憲太郎、加藤正磨、佐竹宏之、鎌田祐一、古澤彰浩、秋元文江、吉岡 努、幅 良統、近藤和雅、田中 武、和田恵一、浜田憲幸、Murat Hudaverdi、田原 譲、山下廣順 (名大)、國枝秀世、見崎一民、柴田 亮、伊藤 啓、森 英之 (宇宙研)、Peter Serlemitsos、Juck Tuller、Yang Soong、Kai-Win Chang、Scott Owens、Fred Berendse、Scott Barthelmy、Hans Krimm、Wayne Baumgartner</p>
<p>15 : 00 W22a 次期スペースVLBI衛星を目指した搭載用展開アンテナの開発 ○平林 久、名取通弘、村田泰宏、朝木義晴、奥泉信克 (宇宙研)、井上 允、近田義広、小林秀行、川口則行、亀野誠二 (国立天文台)、目黒 在、原田 聡 (NTT未来ネット研)、飯倉省一、吉原 眞、中村和行 (東芝)</p>	
<p>15 : 12 W23a 次期スペースVLBI衛星搭載用超高速LSI耐放射線評価 ○輪島清昭、村田泰宏、平林 久 (宇宙研)、川口則幸 (国立天文台)</p>	<p>16 : 12 W28a ASTRO-E II XRT搭載用プレコリメータの開発とその性能評価 ○森 英之、柴田 亮、前田良知、見崎一民、幅 良統、伊藤 啓、飯塚 亮、國枝秀世 (宇宙研)、石田 学 (都立大)</p>
<p>15 : 24 W24a 国際宇宙ステーション搭載全天X線モニター (MAXI) 用 CCD カメラの開発 II ○濱口健二、富田 洋、上野史郎、松岡 勝 (NASDA)、鎌塚友幸、河野洋彦、宮田恵美、常深 博 (阪大)、Yuan Weimin (Cambridge)</p>	<p>16 : 24 W29a X線望遠鏡基板の支持方法改善による結像性能の向上化への展望 ○伊藤 啓、見崎一民、前田良知、柴田 亮、幅 良統、森 英之、飯塚 亮、國枝秀世 (宇宙研)、石田 学 (都立大)</p>

<p>10/4 (木)</p> <p>16:36 W30a ASTRO-E2 衛星に搭載される硬X線検出器(HXD-II)の現状 ○中澤知洋 (宇宙研)、牧島一夫 (東大理/理研)、高橋忠幸、村上敏夫 (宇宙研)、田代 信 (埼玉大理)、深沢泰司 (広島大理)、国分紀秀 (東大理)、能町正治 (阪大理)、釜江常好 (SLAC)、他 HXD チーム</p> <p>16:48 W31a フーリエ・ベッセル合成を用いた宇宙硬X線撮像光学系の基礎研究 ○古徳純一、寺田幸功、牧島一夫 (東大理)</p>	<p>10/5 (金)</p> <p>W36b 次期γ線衛星 GLAST に向けた気球実験のためのシミュレーター(II) ○水嶋浩文、緒方 聖、水野恒史、深沢泰司、大杉 節 (広大理)、釜江常好、半田隆信 (SLAC)、他 GLAST Balloon チーム</p> <p>W37b Astro-E2 衛星搭載 HXD と GLAST 衛星によるガンマ線バーストの観測 ○川添哲志、深沢泰司、大杉 節、水野恒史 (広大理)、釜江常好 (SLAC)、HXD チーム</p>
<p>10/5 (金)</p> <p>09:24 W32a ガンマ線バースト観測衛星 Swift 搭載 BAT 検出器の開発 ○田代 信、鈴木雅也 (埼玉大理)、高橋忠幸、古宇田 学、佐藤悟朗 (宇宙研)、杉保昌彦 (東大理)、N. Gehrels、A. Parsons (GSFC/NASA)、E. Fenimore (LANL)</p> <p>09:36 W33a 次期γ線衛星 GLAST に向けた気球実験の報告 ○水野恒史、緒方 聖、水嶋浩文、宇野進吾、深沢泰司、大杉 節 (広大理)、釜江常好、半田隆信 (SLAC)、平山昌治 (UCSC)、尾崎正伸 (宇宙研)、他 GLAST Balloon チーム</p> <p>09:48 W34a ガンマ線観測衛星 GLAST 用シリコンストリップ検出器の性能評価、及びその品質のモニタリング ○吉田勝一、大杉 節、深沢泰司、増田博之 (広大理)、釜江常好、半田隆信、E. Silva (SLAC)、H.S adrozinski (UCSC)</p> <p>10:00 W35b 次期γ線衛星 GLAST に向けた気球実験のためのシミュレーター(I) ○緒方 聖 (広大理)、釜江常好 (SLAC)、水嶋浩文、水野恒史、深沢泰司、大杉 節 (広大理)、Patric Valtersson (Royal Institute of Technology)、他 GLAST Balloon チーム</p>	<p>10:12 W38b GSO,BGO を用いた宇宙γ線用位置検出型シンチレーション検出器の開発 ○川本和弘、深沢泰司、川添哲志、富永慎弥 (広大理)、久保田あや (ISAS)</p> <p>W39b シリコンストリップを用いた宇宙硬X線、γ線検出器の開発 ○宇野進吾、水嶋浩文、緒方 聖、深沢泰司、大杉 節 (広大理)、三谷烈史、高橋忠幸 (ISAS)、岡田 祐、田島宏康 (東大理)、釜江常好 (SLAC)</p> <p>W40b 太陽フレア硬X線観測装置の飛行報告 ○小林 研 (東大理)、常田佐久、田村友範、熊谷和芳 (国立天文台)、勝川行雄、久保雅仁 (東大理)、齋藤芳隆、太田茂雄、山上隆正 (宇宙研)、森 国城 (クリアパルス)、山口正樹 (オービタルエンジニアリング)</p> <p>10:24 W41a テルル化カドミウム半導体 (CdTe, CdZnTe) を用いた新しい硬X線・ガンマ線検出器の特性評価 ○佐藤悟朗、渡辺 伸、古宇田 学、三谷烈史、小林謙仁、中澤知洋、高橋忠幸 (宇宙研)、岡田 祐、杉保昌彦 (東大理)</p> <p>10:36 W42a テルル化カドミウム半導体を用いた新しい硬X線・ガンマ線撮像素子の開発(2) ○三谷烈史、渡辺 伸、佐藤悟朗、古宇田 学、小林謙仁、中澤知洋、高橋忠幸 (宇宙研)、岡田 祐 (東大理)</p>

X. 情報処理 (F 会場)

10/4 (木)	ポスターのみ	
10:00	X01a MDGRAPE-2 クラスタ上の並列ツリーコード ○川井 敦、戎崎俊一 (理化学研)	X09c すばる望遠鏡公開データアーカイブシステムの開発 ○馬場 肇、安田直樹、市川伸一、八木雅文、高田唯史 (国立天文台)、洞口俊博 (国立科学博物館)、多賀正敏 (早稲田大)、渡邊 大 (宇宙研)、小澤友彦 (みさと天文台)、濱部 勝 (日本女子大)
10:12	X03a AMR を用いた N 体コード: 階層時間幅の実装 ○矢作日出樹、吉井 謙 (東大理)	X10c 天文学ネットワーク図書館の新機能 ○大木健一郎、渡辺香理、木下大輔 (国立天文台)、岡崎篤也、渡辺啓正 (電気通信大)
10:24	X04a 宇宙シミュレーション・ネットラボラトリーシステムの開発 (4): 一般相対論的 MHD コードの実装 ○松元亮治 (千葉大理)、小出眞路 (富山大工)、中村賢仁 (松江高専)、他ネットラボラトリーチーム	X11c 流星のビデオ観測と動画画像解析による流星の自動検出 ○廿日出 勇、浦 武史、小松直也、稲田憲哉 (宮崎大工)
10:36	X06b 並列化 ICCG 法によるポアソン方程式解法ルーチンの評価 ○梅川通久 (千葉大普遍教育)	
	X07b モンテカルロ法による降着円盤の数値シミュレーション ○徳美千城、水谷広巳、松田卓也 (神戸大理)	
	X08b 宇宙赤外線望遠鏡 IRTS による観測のデータベース化とデータアーカイブ II ○高橋英則 (科学技術振興事業団/名大理)、芝井 広 (名大理)、他 IRTS チーム	
.....		
ポスターのみ		
	X02c 自己重力多体系専用計算機 GRAPE-6 の開発状況 ○牧野淳一郎 (東大理)、福重俊幸 (東大総文)、泰地真弘人 (統数研)	
	X05c 宇宙シミュレーション・ネットラボラトリーシステムの開発(5): 実戦的シミュレーション教材 ○桑原匠史、福田尚也 (JST)、中村賢仁 (松江高専)、松元亮治 (千葉大理)、ネットラボラトリーチーム	

Y. 天文教育・その他 (B会場)

<p>10/6 (土)</p> <p>10:48 Y01a 来館者主体のプラネタリウムプログラム作成の試みⅡ ～子どもの手による星の立体表現を活用して～ ○高橋真理子 (山梨県立科学館)、松森靖夫 (山梨大)</p> <p>11:00 Y02a ハレー彗星が描かれた九谷焼の絵皿 ○井上毅 (明石市立天文科学館)、渡部潤一 (国立天文台)</p> <p>11:12 Y03a 日出入時刻計算における標高の効果について ○相馬 充 (国立天文台)</p> <p>11:24 Y07b 21世紀の日食図データベース ○竹下幸一 (東京農大生物)、井上圭典</p> <p>Y08b 美星スペースガードセンターの多量画像データを使った教育活動 (II) ○西山広太、浅見敦夫、David Asher、布施哲治、橋本就安、磯部瑠三、中野主一、大島良明、寺菌淳也、梅原広明、浦田 武、吉川 真 (日本スペースガード協会)、横田孝夫 (日本宇宙フォーラム)</p> <p>Y09b 学校設定科目「宇宙の観測」の教育的意義 ○山田隆文、村上雄一 (登美ヶ丘高校)</p> <p>11:36 Y10b 放送型通信を用いたインターネット中継による講演会の実施例とその評価 ○縣 秀彦、並木光男 (国立天文台)、相川成周 (日大)、五島正光 (巢鴨高)、山本泰士 (電通大)、中山雅哉 (東大)</p> <p>Y11b 天体スペクトルの理解を目標とした汎用カリキュラムの開発—日本 HOU 協会スペクトルカリキュラム試作版 ○古荘玲子 (科学技術振興事業団)、半田利弘 (東大天文センター)、新井達之 (葛飾区郷土と天文の博物館)、大島 修 (岡山県立鴨方高校)、掛谷好博 (銀河学院中学高校)、川端哲也 (美星天文台)、永井智哉 (宇宙開発事業団)、原田 郁子 (科学技術振興事業団)、他 JAHOU TRA および会員</p>	<p>10/6 (土)</p> <p>Y12b 電子冷却カラー CCDによる動画製作 (一つの応用例～惑星の運行～) ○矢動丸 泰、小澤友彦 (みさと天文台)、渡部潤一 (国立天文台)</p> <p>.....</p> <p>ポスターのみ</p> <p>Y04c マルチメディアソフト『宇宙スペクトル博物館 可視光編』改訂版の紹介 ○栗野諭美 (岡山天文博物館)、加藤賢一 (大阪市立科学館)、田島由起子 (サイエンスデザイナー)、田鍋和仁 (ミノルタプラネタリウム)、乗本祐慈、前原英夫 (国立天文台岡山)、福江 純 (大阪教育大教育)</p> <p>Y05c ステレオグラスを用いた3次元構造の立体視のためのソフトウェア開発 ○林 雅治、宮路茂樹 (千葉大自然科学)、半田利弘 (東大天文学教育研究センター)</p> <p>Y06c 日本書紀推古36年の皆既日食の信憑性 ○谷川清隆、相馬 充 (国立天文台)</p>
--	--

ジュニアセッション A会場 (10月6日 15:30~17:00)、ポスター会場I (10月4-6日)

- 01 北極星に関する一般向けホームページの製作 <口頭・ポスター>
 谷村香奈 (高3)、近江真貴子 (高3)、美馬ゆき子 (高3)
 【奈良県立登美ヶ丘高等学校】
- 02 太陽面の5分振動の検出に挑む! <口頭・ポスター>
 大本真理子 (高3)、藤井章仁 (高3)、秋田 望 (高3)
 石井優菜 (高3)、大橋千恵 (高3)、小野隆宏 (高3)
 山田泰三 (高3)、金川裕美 (高2)、光井由紀恵 (高2)
 【岡山県立鴨方高等学校】
- 03 国際小惑星監視プロジェクト・金光中学校での取組 <口頭・ポスター>
 大橋賢太郎 (中3)、河原芳貴 (中3)、濱田啓介 (中3)
 【岡山県浅口郡金光町立金光中学校】
- 04 月食観測による月までの距離測定 <口頭・ポスター>
 千野貴彦 (高専2)、尾澤仁志 (高専2)、青木良枝 (高専2)
 飯島由紀子 (高専2)、小林 彩 (高専2)、山田真澄 (高専3)
 徳永麻伊 (高専3)、有賀裕子 (高専3)、轟 直希 (高専3)
 松元 晶 (高専3)
 【長野工業高等専門学校】
- 05 流星群の出現数と流星塵の数の関連性2 <口頭・ポスター>
 富士田真市 (中3) 【洛星中学校】
 中村早希 (高1) 【聖母学院高等学校】
 浮名美由紀 (高1) 【聖母学院高等学校】
 場田隼也 (高3) 【洛星高等学校】
- 06 惑星間塵の採集 <口頭・ポスター>
 中埜夕希 (高1) 【兵庫県立有馬高等学校】
- 07 こん天儀の復元 <ポスター>
 【京都府立桃山高等学校地学部】

年会実行委員会

委員長	茂山俊和	(東大理)
委員	犬塚修一郎	(京大理)
	上田桂宏	(宇宙研)
	嶋作一大	(東大理)
	戸谷友則	(国立天文台)
	山岡均	(九大理)
	鈴木知治	(東大理)
	加藤万里子	(慶應大) 保育室担当
	吉川真	(宇宙研) ジュニアセッション担当

年会開催地理事

	黒田武彦	(西はりま天文台)
--	------	-----------